

KUMI-WAZA

ユーザーマニュアル

for Adobe Illustrator

Windows



COMPOSE MASTER

KUMI-WAZA

Adobe®Illustrator®/InDesign®対応
自動組版プラグイン

目次

1	はじめに.....	1
1.1	本書について.....	1
1.2	「組技」による自動組版の流れとメリット	1
1.3	動作環境・システム構成.....	2
1.4	ソフトウェアのライセンス情報について	3
1.4.1	OpenSSL	3
1.4.2	expat	3
2	用語説明.....	4
3	基本画面の説明.....	5
3.1	メニュー画面.....	5
3.1.1	「組技について」メニュー	5
3.1.2	「組技」	6
3.1.3	「組技 コマンド」	7
3.1.4	「組技 パネル」	8
3.2	ツール・バー.....	9
3.2.1	「組技ツール」バー	9
3.3	パネル画面.....	10
3.3.1	データ表示 パネル	10
3.3.2	データ詳細表示 パネル	12
3.3.3	画像一覧 パネル	13
3.3.4	テンプレート一覧 パネル	15
3.3.5	項目マッピング パネル	16
3.3.6	データファイル パネル	17
3.3.7	制作情報 パネル	17
3.3.8	レイアウト枠 パネル	18
3.3.9	コメント パネル	19
4	組版機能.....	20
4.1	小組テンプレートの作成と利用	20
4.1.1	項目マッピングパネルを使用して、小組テンプレートを作成する.....	21
4.1.2	オブジェクトとのマッピング設定	23
4.1.3	画像配置用フィールドの作成	24
4.1.4	テンプレート・ファイルの一覧表示.....	25
4.1.5	テンプレートをドキュメントに配置する.....	27
4.2	データの表示.....	28

4.2.1	データの一覧表示	28
4.2.2	データファイルの読み込み	28
4.2.3	データ項目の内容表示	30
4.2.4	制作情報 の表示	30
4.2.5	差異チェック結果による表示フィルタリング.....	31
4.2.6	データの絞り込み	32
4.2.7	フリーワード検索	33
4.3	画像の表示.....	33
4.3.1	データとの自動マッチング	33
4.3.2	画像フォルダを指定する	34
4.3.3	画像のサムネイル表示	35
4.4	データの割り付け（流し込み）と更新	37
4.4.1	小組テンプレートへデータを割り付ける.....	37
4.4.2	アートオブジェクトへ項目データを割り付ける.....	39
4.4.3	ドキュメントへ項目データを割り付ける.....	39
4.4.4	更新データをフィールド（アートオブジェクト）に反映する.....	40
4.4.5	流し込みのオプション	41
4.4.6	データの割り付け先フィールド（アートオブジェクト）を探す.....	42
4.4.7	アートオブジェクトから割り当てられているデータを探す.....	44
4.5	画像の配置と差し替え	46
4.5.1	画像一覧パネルから画像を配置する.....	46
4.5.2	画像の自動配置	46
4.5.3	配置画像の選択設定	46
4.5.4	配置画像の差し替え	46
4.6	レイアウト枠を使用した割り付け（流し込み）	47
4.6.1	レイアウト テンプレートの作成	47
4.6.2	レイアウトテンプレートへのデータの割り付け（流し込み）	50
4.7	ペースト機能の拡張.....	54
4.7.1	レコードリンクを維持してペーストする.....	54
4.7.2	レコードリンクを解除してペーストする.....	54
4.7.3	マッピングリンクを解除してペーストする.....	54
4.8	コメント.....	55
4.8.1	コメントの作成	55
4.8.2	コメント枠の背景色変更	56
5	比較機能.....	57
5.1	データとの差異チェック	57
5.1.1	差異チェックの実行	57

5.1.2	パネル上での色分け表示	58
5.1.3	ドキュメント上での色分け	58
5.1.4	レポート出力	59
5.2	データ同士の比較.....	61
5.2.1	比較元/比較先のデータファイルを指定する.....	61
5.2.2	パネル上での色分け表示	62
5.2.3	データ表示フィルター	62
5.3	差異チェック除外項目設定.....	63
5.3.1	項目マッピングパネルでの除外項目設定.....	63
5.3.2	差異チェック対象外文字	63
5.3.3	重複チェック	64
5.4	除外設定.....	65
5.4.1	データ表示 パネルでの除外設定	65
5.4.2	データ詳細表示 パネルでの除外設定	66
5.4.3	除外設定を外部ファイルに保存する.....	66
5.4.4	除外設定を外部ファイルから読み込む.....	67
6	データのエクスポート.....	68
6.1	画面について.....	68
6.1.1	「組技 エクスポート」ダイアログ	68
6.2	データの外部ファイル出力 (XML)	69
6.3	データの外部ファイル出力 (CSV)	72
7	データについて.....	74
7.1	CSV データ	74
7.1.1	属性	74
7.1.2	固定属性	74
7.2	画像定義ファイル.....	75
7.2.1	画像定義ファイルについて	75
7.2.2	画像ファイルの複数定義	75
7.2.3	画像定義ファイルのファイル名について.....	76
7.2.4	テンプレート定義ファイルについて.....	76
7.2.5	テンプレート定義ファイルのファイル名について.....	76
7.2.6	テンプレート名指定流し込みについて.....	76
8	付録	77

1 はじめに

1.1 本書について

本書は、組技についてご説明するものです。

1.2 「組技」による自動組版の流れとメリット

組技は、Adobe Illustrator/InDesign 用の自動組版プラグインです。組技をインストールすることにより、組版作業の【時間短縮】【ミス低減】を実現するための機能が、組技メニュー、組技コマンド、および組技パネルとして表示されます。図 1 は、一般的な組版作業の流れと、その中で組技がどのような役割を担っているかを示したものです。

組技は、大きく次の 4 つの機能を提供します。

- ① CSV や XML データを読み込み、組版を指定する機能
- ② 各種テキストと画像をワンセットで流し込み、データを指定する機能
- ③ 原稿データと作成中の紙面との差分チェック、データ反映などの便利機能
- ④ 各オブジェクトの座標データとの関連付けを含めたデータエクスポート機能

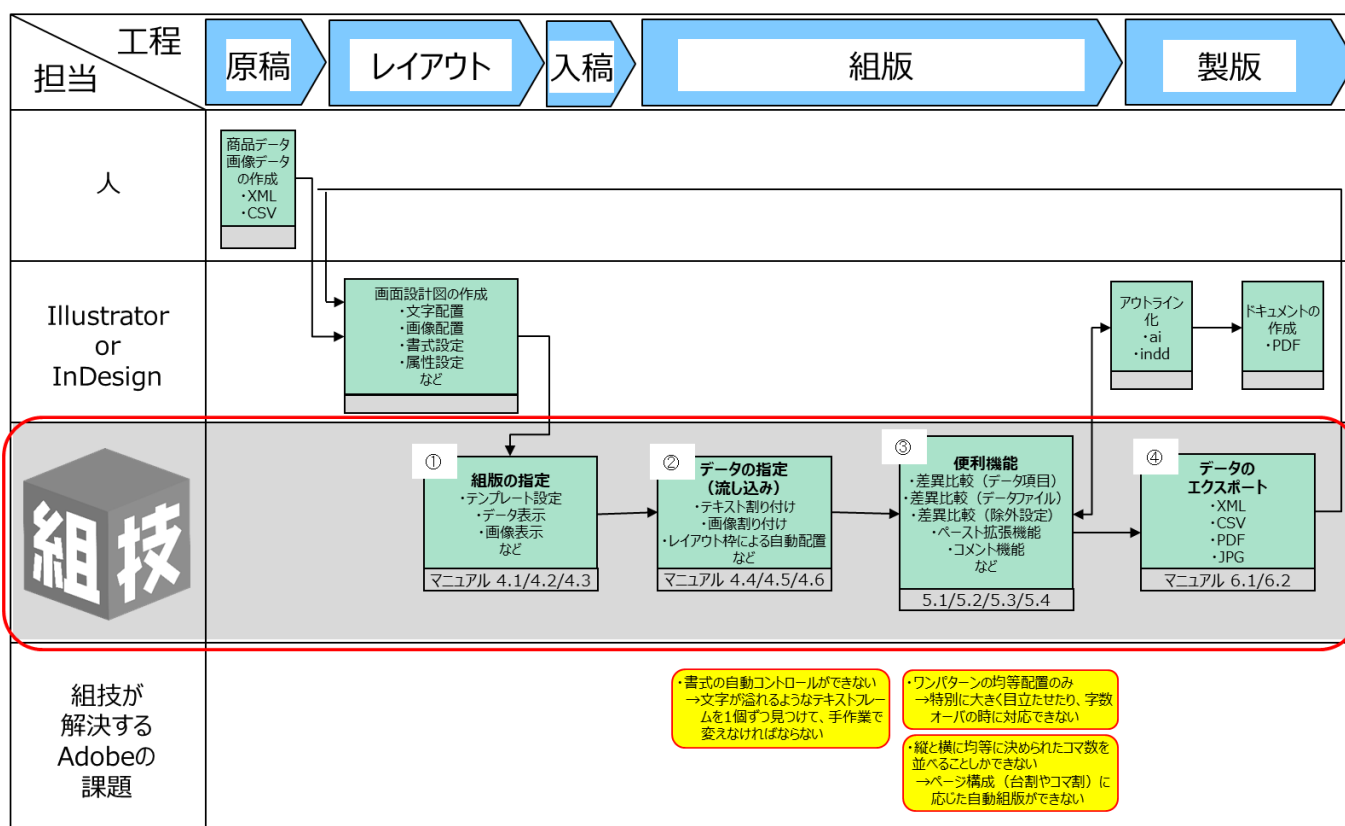


図 1. 組版作業の流れと組技の役割

1.3 動作環境・システム構成

Adobe Illustrator CC2017 以降 日本語版

対応 OS : Windows7 SP1、Windows10

他 : Java J2SE 6.0 以上

※ お使いの PC にインストールされている必要があります。

※ 対応 OS は、Adobe Illustrator の各バージョンの仕様に依存します。

その他、動作に必要なシステム構成は、Adobe Illustrator の必要システム構成に準じます。

1.4 ソフトウェアのライセンス情報について

組技は、下記のソフトウェアを使用しています。

1.4.1 OpenSSL

この製品には、OpenSSL Toolkit で使用するために OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが含まれています。(<http://www.openssl.org/>)

1.4.2 expat

この製品は、expat (<http://expat.sourceforge.net/>) を使用しています。

この expat は MIT License によって配布されています。

以下は、MIT License によって義務付けられている著作権表示およびライセンス文、免責条項です。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

2 用語説明

本書で使用する用語について説明します。

用語	意味
ドキュメント	Illustrator のドキュメント 主に、拡張子 ai のファイルを指す
オブジェクト	Illustrator の アートオブジェクト
データ	文字や、画像の集合体を指す 時に、校正済みの文字データ ドキュメントへ割り付けられる文字データを指す
文字データ	いわゆるテキスト
フィールド	InDesign で言うフレームのこと データが割り付けられたオブジェクトを指す データ項目と関連付けられているオブジェクトを指す
テンプレート	一部を変更するだけで、繰り返し使用できる定型書式のこと。1 つ以上のフィールドで構成されている。
画像配置枠	データ項目と関連付けを持つ矩形パスオブジェクト
割り付け	データを流し込むこと
パネル	CS2 までは、パレットと呼ばれていた CS3 からは、Adobe のドキュメント類では、パネルと書かれている。
差異チェック	ドキュメント上のオブジェクトとデータとの差異をチェックする
属性	CSV データにおけるデータ項目名を指す
ポイントテキスト	文字ツールをクリックして入力したテキストのこと
エリアテキスト	文字ツールをドラッグして入力したテキストのこと

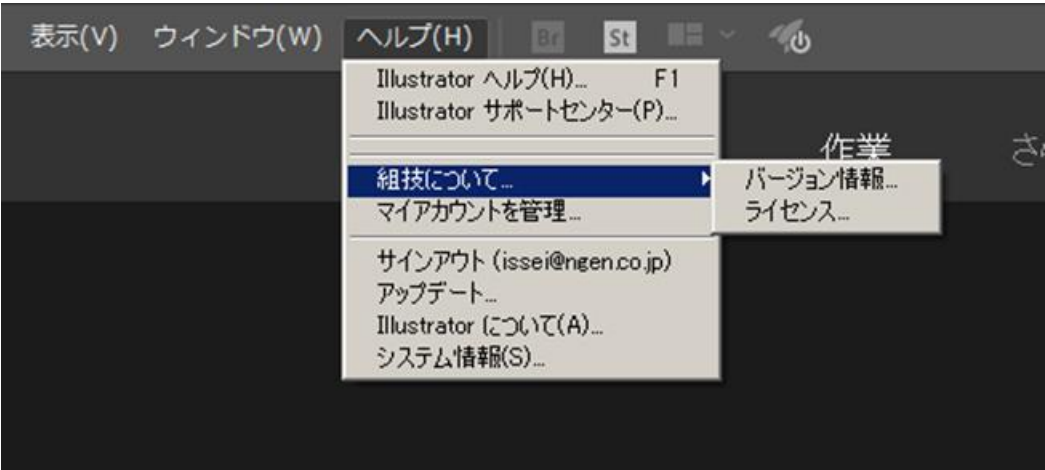
3 基本画面の説明

組技で追加されるメニュー、コマンド、及びパネルについて説明します。

3.1 メニュー画面

組技で追加されるメニューについて説明します。

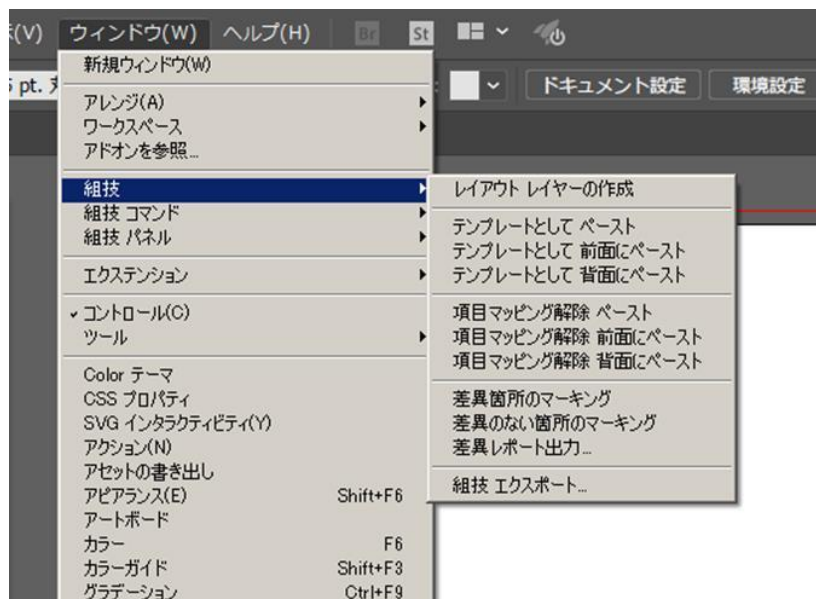
3.1.1 「組技について」メニュー



バージョン情報	組技のバージョン情報を表示します。
ライセンス	ライセンス認証画面を開きます。 ⇒ インストールマニュアル（別冊）を参照

3.1.2 「組技」

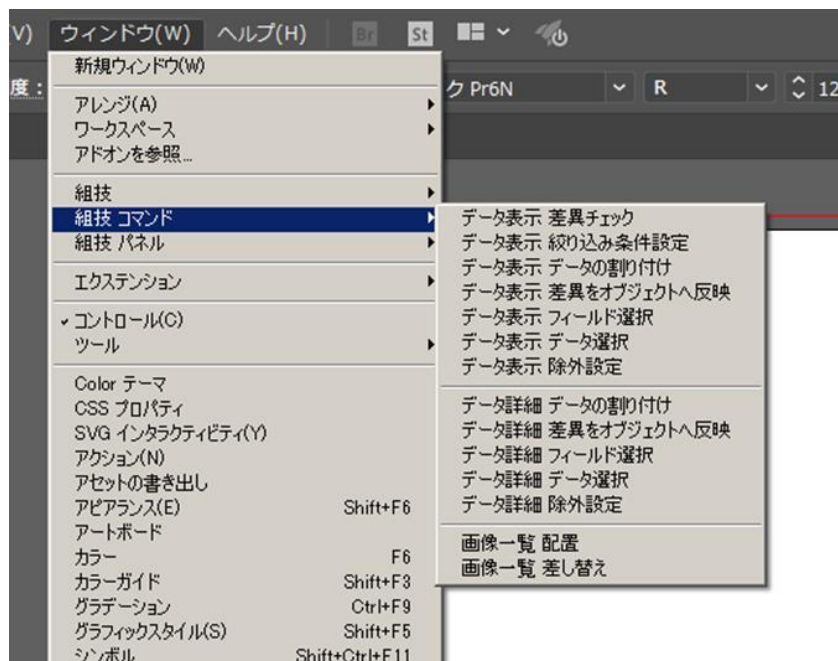
組技で追加される機能メニューについて説明します。



レイアウトレイヤーの作成	レイアウト枠を使用して割り付けを行うことができます。 ⇒ 4. 6. 1 項を参照
テンプレートとして ペースト テンプレートとして前面にペースト テンプレートとして背面にペースト	データリンクを解除してペーストすることができます。 ⇒ 4. 7. 2 項を参照
項目マッピング解除 ペースト 項目マッピング解除 前面にペースト 項目マッピング解除 背面にペースト	データリンクを解除し、項目とのマッピング情報も削除してペーストすることができます。 ⇒ 4. 7. 3 項を参照
差異箇所のマーキング 差異のない箇所のマーキング	ドキュメント上でデータとの差異を色分けします。 ⇒ 5. 1. 3 項を参照
差異レポート出力	データとの差異を excel 形式で出力します。 ⇒ 5. 1. 4 項を参照
組技エクスポート	ドキュメントの内容を XML や CSV 形式で出力します。 ⇒ 6 章を参照

3.1.3 「組技 コマンド」

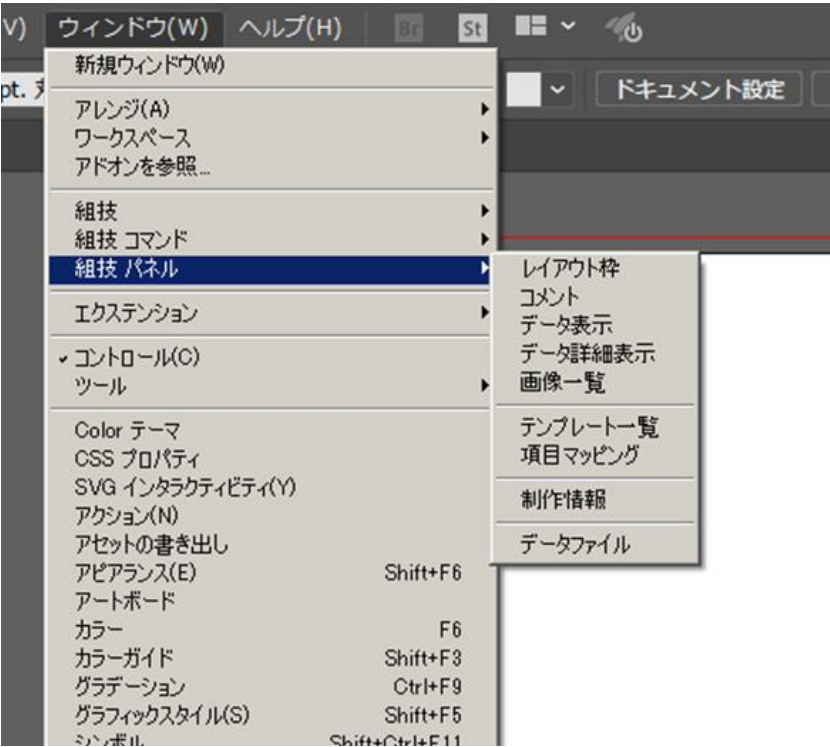
組技で追加されるパネル上のボタンのうち、よく使われるものをキーボードショートカットとして割り当てを行えるように、メニュー項目として登録しています。



データ表示 差異チェック	データ表示 パネルの 差異チェック ボタンと同じ機能です。
データ表示 絞り込み条件設定	データ表示 パネルの 絞り込み設定 ボタンと同じ機能です。
データ表示 データの割り付け	データ表示 パネルの データの割り付け ボタンと同じ機能です。
データ表示 差異をオブジェクトへ反映	データ表示 パネルの 差異をオブジェクトへ反映 ボタンと同じ機能です。
データ表示 フィールド選択	データ表示 パネルの フィールド選択 ボタンと同じ機能です。
データ表示 データ選択	データ表示 パネルの データ選択 ボタンと同じ機能です。
データ表示 除外設定	データ表示 パネルの 除外設定 ボタンと同じ機能です。
データ詳細表示 データの割り付け	データ詳細表示 パネルの データの割り付け ボタンと同じ機能です。
データ詳細表示 差異をオブジェクトへ反映	データ詳細表示 パネルの 差異をオブジェクトへ反映 ボタンと同じ機能です。
データ詳細表示 フィールド選択	データ詳細表示 パネルの フィールド選択 ボタンと同じ機能です。
データ詳細表示 データ選択	データ詳細表示 パネルの データ選択 ボタンと同じ機能です。
データ詳細表示 除外設定	データ詳細表示 パネルの 除外設定 ボタンと同じ機能です。
画像一覧 配置	画像一覧 パネルの 配置 ボタンと同じ機能です。
画像一覧 差し替え	画像一覧 パネルの 差し替え ボタンと同じ機能です。

3.1.4 「組技 パネル」

組技で追加されるパネルの表示/非表示を行います。



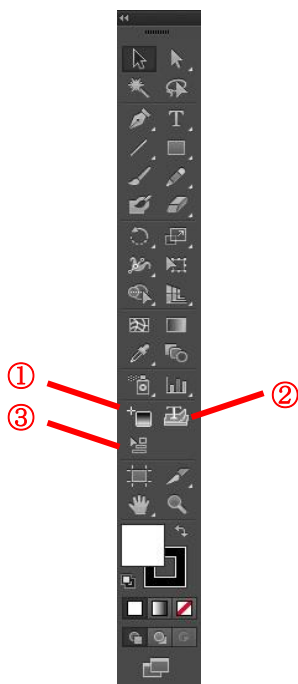
レイアウト枠	レイアウト枠 パネルの表示/非表示を行います。
コメント	コメント パネルの表示/非表示を行います。
データ表示	データ表示 パネルの表示/非表示を行います。
データ詳細表示	データ詳細表示 パネルの表示/非表示を行います。
画像一覧	画像一覧 パネルの表示/非表示を行います。
テンプレート一覧	テンプレート一覧 パネルの表示/非表示を行います。
項目マッピング	項目マッピング パネルの表示/非表示を行います。
制作情報	制作情報 パネルの表示/非表示を行います。
データファイル	データファイル パネルの表示/非表示を行います。

3.2 ツール・バー

組技で追加されるツールについて説明します。

3.2.1 「組技ツール」バー

ドキュメントを開いた状態でツールボタンをクリックすると、用途に応じてアイコンが変化し、すぐに目的の操作が実行できます。



①	レイアウト枠（地番枠）作成ツール	レイアウトテンプレートを選択することで、簡単にレイアウト枠を作成できます。 ⇒ 4.6.1 項を参照
②	コメント作成 ツール	作成中の紙面にコメントを記述できます。 ⇒ 4.8.1 項を参照
③	テンプレート配置 ツール	「テンプレート一覧」からテンプレートを選択することで、簡単にテンプレート・ファイルの内容を配置できます。 ⇒ 4.1.5 項を参照

3.3 パネル画面

3.3.1 データ表示 パネル

データ表示 パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	データファイル選択リスト	現在指定されているデータフォルダに格納されているデータファイルをリスト選択することができます。
②	データフォルダの指定 ボタン	表示したいデータフォルダを選択します。
③	差異チェック ボタン	文字データとドキュメント上のオブジェクトとを比較します。
④	データグループ 選択リスト	現在指定されているデータファイル内に含まれているデータグループをリスト選択することができます。 (商品情報／イベント情報／店舗情報選択)
⑤	データー一覧表示フィルター	差異チェックの結果に対し、データの絞り込みができます。
⑥	絞り込み設定 ボタン	データ項目の値により、データの絞り込みができます。
⑦	オブジェクト同期 オプション	データー一覧の表示内容に合わせて、カレントドキュメント上のアートオブジェクトを表示/非表示します。
⑧	検索	データー一覧リストに表示されている内容に対し、部分一致検索ができます。
⑨	データー一覧	現在指定されているデータファイル内のデータを一覧表示します。 データファイル内に複数のデータグループが含まれている場合、パネル上で選択されているデータグループの内容が表示されます。
⑩	データの割り付け ボタン	ドキュメント上でテンプレートが貼り付けられている状態で、データを選択し割り付けることができます。
⑪	差異をオブジェクトへ反映 ボタン	更新されたデータをフィールド (アートオブジェクト) に反映します。
⑫	フィールド選択 ボタン	データが割り付けられているフィールド (アートオブジェクト) を探します。
⑬	全選択 ボタン	データー一覧の内容に対し、全て選択/全て解除 ができます。
⑭	データ選択 ボタン	ドキュメント上で選択されているオブジェクトに対し、そのオブジェクトに割り付けられているデータを選択状態にします。

⑮	データマッピング ボタン	使用しません。
⑯	除外設定 ボタン	差異チェックの対象外としたいデータを除外します。
⑰	データ操作の指定 ボタン	データ操作ダイアログを表示する。

■データ操作ダイアログ



データファイルを指定する	ファイル選択ダイアログからデータファイル「*.xml」または「*.csv」を選択します。
データフォルダを指定する	データフォルダの指定 ボタンと同じ機能です。
画像フォルダを指定する	フォルダ選択ダイアログから画像の格納されているフォルダを選択します。
任意未反映設定を外部ファイルに保存する	任意未反映指定した項目の情報を外部ファイルとして保存します。
任意未反映設定を外部ファイルから読み込む	外部ファイルとして保存した任意未反映情報を読み込みます。
流し込みオプション設定	ドキュメント上に配置したテンプレートにデータを流し込む際に、オプション設定が可能です。 ⇒ 4.4.5 項を参照

3.3.2 データ詳細表示 パネル

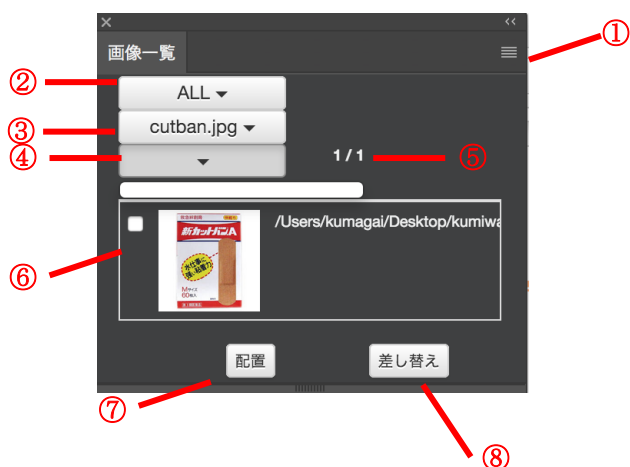
データ詳細表示 パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	データ項目一覧	データ表示パネルのデーター一覧で選択されたデータの内容を表示します。
②	データの割り付け ボタン	アートオブジェクトへ項目データを割り付けることが出来ます。 ⇒ 4.4.2 項を参照 ドキュメントへ項目データを割り付けることが出来ます。 ⇒4.4.3 項を参照
③	差異をオブジェクトへ反映 ボタン	更新データをオブジェクトに反映します。
④	フィールド選択 ボタン	データ詳細一覧上で選択されているデータ項目に対し、そのデータ項目が割り付けられているオブジェクトを選択状態にします。
⑤	データ選択 ボタン	ドキュメント上で選択されているオブジェクトに対し、そのオブジェクトに割り付けられているデータ項目を選択状態にします。
⑥	除外設定 ボタン	選択した項目を差異チェック対象外とします。

3.3.3 画像一覧 パネル

画像一覧 パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	画像フォルダの指定 ボタン	画像フォルダダイアログを表示します。
②	項目名選択	画像 ID（もしくはファイル名）の項目として指定されている項目名をリスト選択できます。
③	画像 ID 選択	データ一覧で選択されているデータに含まれている画像 ID（もしくはファイル名）をリスト選択できます。 選択できる内容は、②で選択されている項目の内容になります。
④	画像絞り込み条件	キーワードによる絞込が可能。 画像ファイルのファイル名及び、格納されているフォルダ名の一部をキーワードとして使用できます。
⑤	画像数表示	データ一覧で選択されているデータに関連付く画像の件数を”n/m”の形式で表示します。 n・・・②③④の設定により、絞り込まれた結果の件数 m・・・現在指定されている画像フォルダ内に存在する画像数
⑥	画像一覧	画像のサムネイル、ファイル名、ファイルパスを表示します。
⑦	配置 ボタン	長方形ツールを使用して画像の配置位置の枠を選択した状態で、画像一覧パネルから画像を選択することで、リンク画像が配置されます。
⑧	差し替え ボタン	ドキュメント上に配置済みの画像を画像一覧パネルで選択された画像に差し替えます。

■画像フォルダダイアログ



画像フォルダを指定する	フォルダ選択ダイアログ上で、画像が格納されているフォルダを選択します。
更新	画像フォルダに格納されている画像を変更した場合や追加した場合に、その内容を画像一覧パネルに反映します。
パネルオプション	サムネイル画像のサイズや表示画像の絞込みが行えます。

3.3.4 テンプレート一覧 パネル

テンプレート一覧 パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	サムネイル表示	テンプレート・ファイルの内容をテンプレート一覧にサムネイル表示します。
②	テンプレートフォルダの指定 ボタン	テンプレートフォルダ・ダイアログを表示します。
③	テンプレートフォルダパス表示	現在設定されているテンプレートフォルダのパスを表示します。
④	テンプレート一覧	現在設定されているテンプレートフォルダ内に格納されているテンプレート・ファイル(*.ai)を一覧表示します。

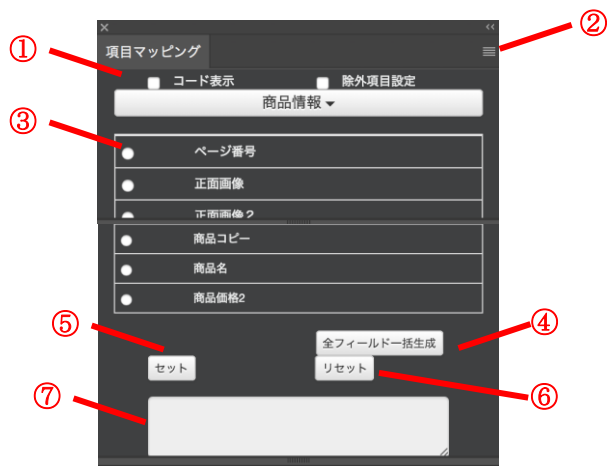
■テンプレートフォルダ・ダイアログ



テンプレートフォルダの選択	フォルダ選択ダイアログで選択したフォルダに格納されている AI ファイル (*.ai) をテンプレート一覧パネルに表示します。
更新	テンプレートフォルダ内に新しいファイルを追加した場合などに、フォルダ内容の変更をパネルに反映します。
配置オプション	レイアウト枠（テンプレート配置枠）を使用した場合の動作設定を行うための画面を表示します。 <div><div>配置オプション</div><div>テンプレート配置オプション:<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 長方形に合わせて拡大・縮小する<ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 全体の縦横比維持する<input type="checkbox"/> 文字の縦横比維持する<input type="checkbox"/> 画像の縦横比維持する<input type="checkbox"/> 図形（パス）の縦横比維持する</div><div>連続配置:<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 最前面から<input checked="" type="radio"/> 最背面から</div><div>キャンセル OK</div></div>

3.3.5 項目マッピング パネル

項目マッピング パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	フォーマット選択リスト	読み込まれている項目定義が複数のフォーマットを持っている場合、リスト選択ができます。
②	項目定義ファイルの指定 ボタン	項目定義ファイル・ダイアログを表示します。
③	項目一覧	読み込まれている項目定義の内容が表示されます。 複数のフォーマットを持っている場合、選択されているフォーマットの内容が表示されます。
④	全フィールド一括生成 ボタン	項目一覧に表示されている項目とマッピングされたテキストが全ての項目分、作成されます。
⑤	マッピング セット ボタン	ドキュメント上に項目とオブジェクトのマッピングを設定します。
⑥	マッピング リセット ボタン	ドキュメント上の項目とオブジェクトのマッピングを解除します。
⑦	マッピング情報表示	ドキュメント上で選択されているオブジェクトに関連付けられている項目を表示します。

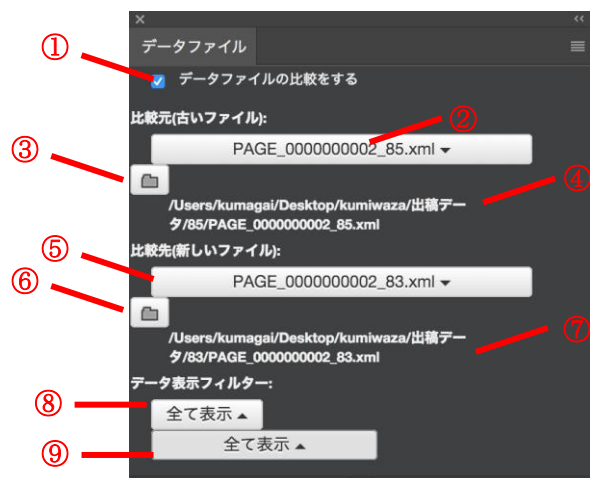
■項目定義ファイル・ダイアログ



項目定義ファイルを開く	ファイル選択ダイアログから項目定義ファイルを選択し読み込みます。
除外項目設定の保存	除外項目設定した情報を外部ファイルとして保存します。
除外項目設定の読み込み	外部ファイルとして保存した除外項目設定を読み込みます。

3.3.6 データファイル パネル

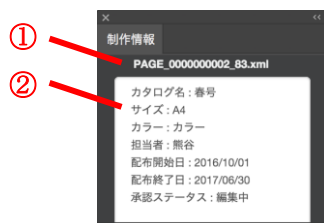
データファイル パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	データファイルの比較をする	データファイル同士の比較を行う場合、チェックを On にします。
②	比較元ファイル 選択リスト	選択した比較元ファイルのファイル名を表示します。
③	比較元データフォルダの指定 ボタン	比較元のデータフォルダを指定します。
④	比較元ファイルパス 表示	現在選択されている比較元ファイルのファイルパスを表示します。
⑤	比較先ファイル 選択リスト	選択した比較先ファイルのファイル名を表示します。
⑥	比較先データフォルダの指定 ボタン	比較先のデータフォルダを指定します。
⑦	比較先ファイルパス 表示	現在選択されている比較先ファイルのファイルパスを表示します。
⑧	表示データファイル選択リスト	「全て表示」、「比較元のみ」、「比較先のみ」のいずれかを選択することで、表示するデータファイルを絞り込みます。
⑨	表示データ選択リスト	「全て表示」、「差異のあるものを表示」、「差異の無いものを表示」、「差異 比較元のみ」、「差異 比較先のみ」、「差異データのみ」の中から選択することで、表示するデータを絞り込みます。

3.3.7 制作情報 パネル

制作情報 パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	データファイル名 表示	現在指定されているデータファイルのファイル名を表示する
②	制作情報一覧	現在指定されているデータファイルに含まれる制作情報を表示する

3.3.8 レイアウト枠 パネル

レイアウト枠 パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	レイアウト枠 位置 座標 X	ドキュメント上で選択されているレイアウト枠の左上隅座標を表示します。(単位は、ドキュメント作成時に設定した幅の単位になります。)
②	レイアウト枠 位置 座標 Y	ドキュメント上で選択されているレイアウト枠の左上隅座標を表示します。(単位は、ドキュメント作成時に設定した幅の単位になります。)
③	レイアウト枠 横幅 W	ドキュメント上で選択されているレイアウト枠の横幅を表示します。(単位は、ドキュメント作成時に設定した幅の単位になります。)
④	レイアウト枠 高さ H	ドキュメント上で選択されているレイアウト枠の高さを表示します。(単位は、ドキュメント作成時に設定した幅の単位になります。)
⑤	レイアウト枠 地番	ドキュメント上で選択されているレイアウト枠に設定されている地番を表示します。
⑥	更新 ボタン	① ～⑤の値を変更することができます。
⑦	全て表示/非表示 ボタン	ドキュメント上に配置されているレイアウト枠の表示/非表示を切り替えることができます。
⑧	レイアウト枠 リスト	ドキュメント上に配置されているレイアウト枠の一覧を表示します。

3.3.9 コメント パネル

コメント パネルの各部の名称と、パネルメニューについて説明します。



①	コメント 背景色 選択リスト	コメントの背景色を変更できます。
②	全て表示/非表示 ボタン	ドキュメント上に配置されているコメントの表示/非表示を切り替えることができます。
③	コメント リスト	ドキュメント上に配置されているコメントの一覧を表示します。

4 組版機能

テンプレートや、レイアウト枠を使用すると、レイアウトを決めてデータを割り付けることができます。

また、あらかじめ項目とマッピングされたオブジェクトを作成しておかなくても、自動でマッピングできるため、いきなりデータを割り付けることができます。

データ形式に XML と CSV を採用しているため、複雑なデータ構造にも柔軟に対応できます。

また、テンプレートと言っても、単純な **Illustrator** ドキュメントであるため、プラグインの機能に束縛されることなく、自由にデザインの変更ができます。

4.1 小組テンプレートの作成と利用

テンプレートを使用することで、同じようなデザインをデータ毎に作成する必要がなくなります。

テンプレートの作成手段は 2 通りあります。

- 項目マッピング パネルを使用して項目とマッピングされたアートオブジェクトを作成し、デザインを組む。
- データをドキュメント上に割り付けてデザインを組む。

いずれも、ファイル(*.ai)として保存するだけで、テンプレートとして利用できます。

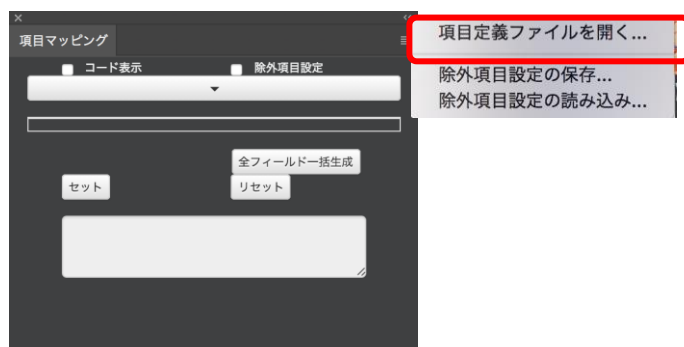
テンプレートとして作成したファイル(*.ai)は テンプレート一覧 パネルに一覧表示できます。

4.1.1 項目マッピングパネルを使用して、小組テンプレートを作成する

データ項目定義ファイルの読み込み

「項目マッピング」パネルのパネルメニューから[項目定義ファイルを開く]を選択します。
「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、項目定義ファイル(format.xml)を選択します。
ファイルが指定されると、項目一覧にその内容が表示されます。

※この機能は、『紙技』『綴技』をお使いのお客様のみの手順です。



フィールドの一括生成

新規ドキュメントを作成します。

「項目マッピング」パネルの[全フィールド一括生成]ボタンをクリックします。

項目一覧に表示されている項目とマッピングされたポイントテキストが全ての項目分、作成されます。



4.1.2 オブジェクトとのマッピング設定

項目マッピング パネルを使用して項目とマッピングされたアートオブジェクトを作成し、デザインを組みます。

項目とマッピングされたアートオブジェクトを**フィールド**と呼びます。

(InDesign でフレームと呼ばれているものに相当します。)

ポイントテキストとエリアテキストは、文字データのフィールドとして使用できます。

画像を配置するためのフィールドには、長方形ツールを使用して配置されたオブジェクト (パス) を使用します。

テンプレート・ファイルには、フィールドとして使用する以外のオブジェクトを含めることもできます。

マッピングの設定

ドキュメント上のマッピングを設定したいオブジェクトを選択します。

「項目マッピング」パネルの項目一覧からマッピングしたい項目を選択します。

「項目マッピング」パネルの[セット]ボタンをクリックします。

※ 図形、線などのパスも同様にマッピング設定することができます。



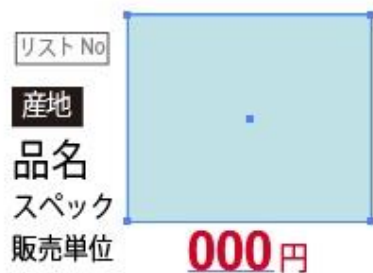
マッピングの解除

ドキュメント上のマッピングを解除したいオブジェクトを選択します。

「項目マッピング」パネルの[リセット]ボタンをクリックします。

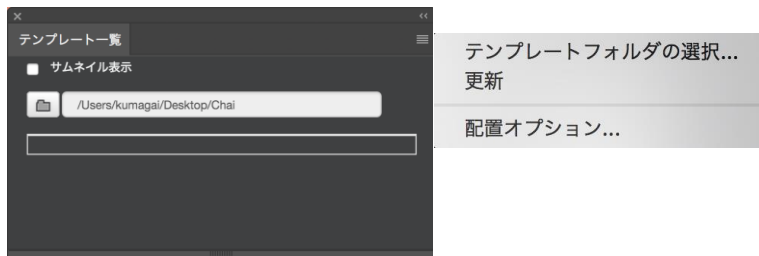
4.1.3 画像配置用フィールドの作成

画像を配置する場所に、長方形を配置し、“画像名”の項目とマッピングを行います。



4.1.4 テンプレート・ファイルの一覧表示

テンプレートとして作成したファイル(*.ai)は テンプレート一覧 パネルに一覧表示できます。



テンプレートフォルダの選択

「テンプレート一覧」パネルのパネルメニューから、「テンプレートフォルダの選択」をクリックします。「フォルダ選択ダイアログ」が表示されますので、フォルダを選択します。フォルダが選択されると、選択されたフォルダに格納されている AI ファイル(*.ai)が「テンプレート一覧」パネルに表示されます。



テンプレート一覧の更新

「テンプレート一覧」パネルのパネルメニューにある「更新」を選択すると、パネルの内容が更新されます。テンプレートフォルダ内に新しいファイルを追加した場合など、フォルダ内容の変更をパネルに反映します。

テンプレートのプレビュー表示

「テンプレート一覧」パネルのパネルメニューにある
「サムネイル表示」を ON にすると、テンプレート・ファイル
の内容がテンプレート一覧にサムネイル表示されます。




4.1.5 テンプレートをドキュメントに配置する

テンプレート配置 ツールを使用して、ドキュメント上をマウスでクリックします。クリックされた位置を左上隅の座標として、テンプレート一覧 パネル上で選択されたテンプレート・ファイルの内容を配置します。

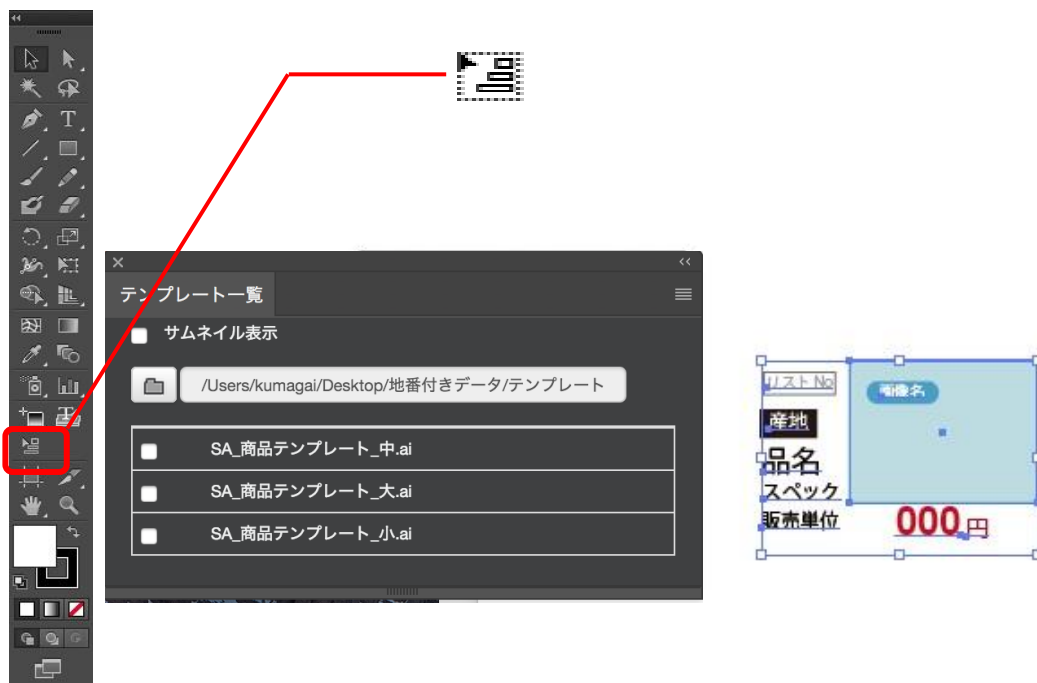
この他にも、レイアウト枠を使用してテンプレートを配置する方法があります。

テンプレート配置 ツール

「テンプレート配置」ツールを選択すると、マウскарソルが  に変わります。

テンプレートを貼り付けるには、「テンプレート一覧」パネルから貼り付けるテンプレートを選択し、ドキュメント上をクリックします。

選択されたテンプレート・ファイル(*.ai)の内容がドキュメント上に貼り付けられます。



4.2 データの表示

4.2.1 データの一覧表示

データ表示 パネルに、指定されたデータファイル（「*.xml」または「*.csv」）の内容を一覧表示します。
また、プラグインを使用して作成したドキュメント(*.ai)を開いた際に、ドキュメント上に割り当てられた（流し込まれた）データがある場合、その内容も一覧表示されます。

差異チェックの結果を元に、表示データの絞込ができます。

さらに、パネルの表示内容とドキュメント上の表示オブジェクトの同期が可能です。

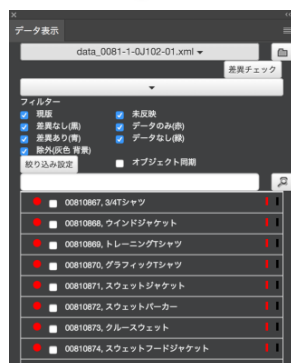
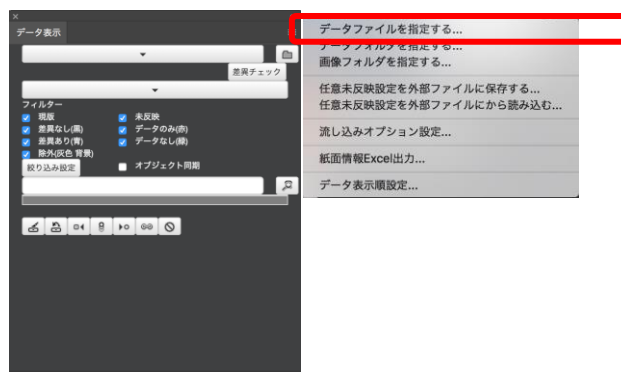
4.2.2 データファイルの読み込み

データファイルを指定する

「データ表示」パネルのパネルメニューから[データファイルを指定する]を選択します。

「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、データファイル（「*.xml」または「*.csv」）を選択します。

ファイルが指定されるとデータ一覧リストにその内容が表示されます。

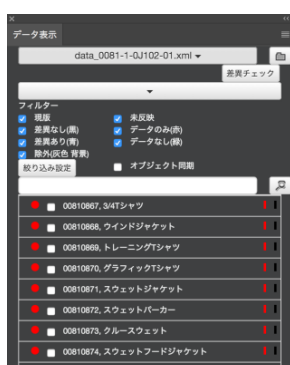


データフォルダを指定する

「データ表示」パネルの「データフォルダを指定する」ボタンをクリックします。

「フォルダ選択ダイアログ」が表示されますので、データファイル（「*.xml」または「*.csv」）が格納されているフォルダを選択します。

ファイルが指定されるとデーター一覧リストにその内容が表示されます。



4.2.3 データ項目の内容表示

データ表示 パネル上で選択されたデータ（レコード）の内容を、データ詳細表示 パネルに表示します。

※ データ表示 パネル上で、データ（レコード）が複数選択されている場合は、表示されません。



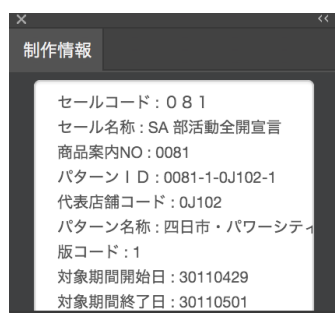
校正順に表示する

データ詳細表示 パネルのパネルメニューにある「校正順に表示する」にチェックが付いている場合、データファイル（「*.xml」または「*.csv」）の内容の並び順で、データ項目が表示されます。

チェックが付いていない場合、データ項目定義で定義されている順にデータ項目が表示されます。

4.2.4 制作情報の表示

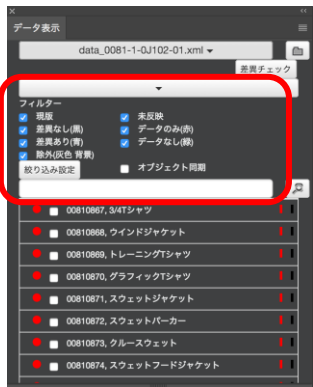
「制作情報」パネルには、現在読み込んでいる XML データに含まれる制作管理上のデータが表示されます。



4.2.5 差異チェック結果による表示フィルタリング

差異チェックの結果を元に、データの絞込ができます。

「データ表示」パネルのチェックボックスを On/Off することで、表示内容を切り替えることができます。



チェックボックス	説明
差異なし	差異なしのデータを表示します。
データのみ	データファイルのみに存在するデータを表示します。
差異あり	差異ありのデータを表示します。
データなし	カレントドキュメントのみに存在するデータを表示します。
除外データ	除外設定が設定されているデータを表示します。

差異 なし	データ のみ	差異 あり	データ なし	除外 データ	表示
					何も表示しない。
●					差異なしデータを表示する。 除外データは表示しない。
	●				データのみデータを表示する。 除外データは表示しない。
		●			差異ありデータを表示する。 除外データは表示しない。
			●		データなしデータを表示する。 除外データは表示しない。
				●	全ての除外データを表示する。
●				●	除外設定されている差異なしデータを表示する。(AND条件)
	●			●	除外設定されているデータのみデータを表示する。(AND条件)
		●		●	除外設定されている差異ありデータを表示する。(AND条件)
			●	●	除外設定されているデータなしデータを表示する。(AND条件)
●	●				差異なしまたはデータのみデータを表示する。(OR条件) 除外データは表示しない。
	●	●		●	除外設定されているデータのみまたは除外設定されている差異ありデータを表示する。
●	●	●	●	●	全てを表示する

4.2.6 データの絞り込み

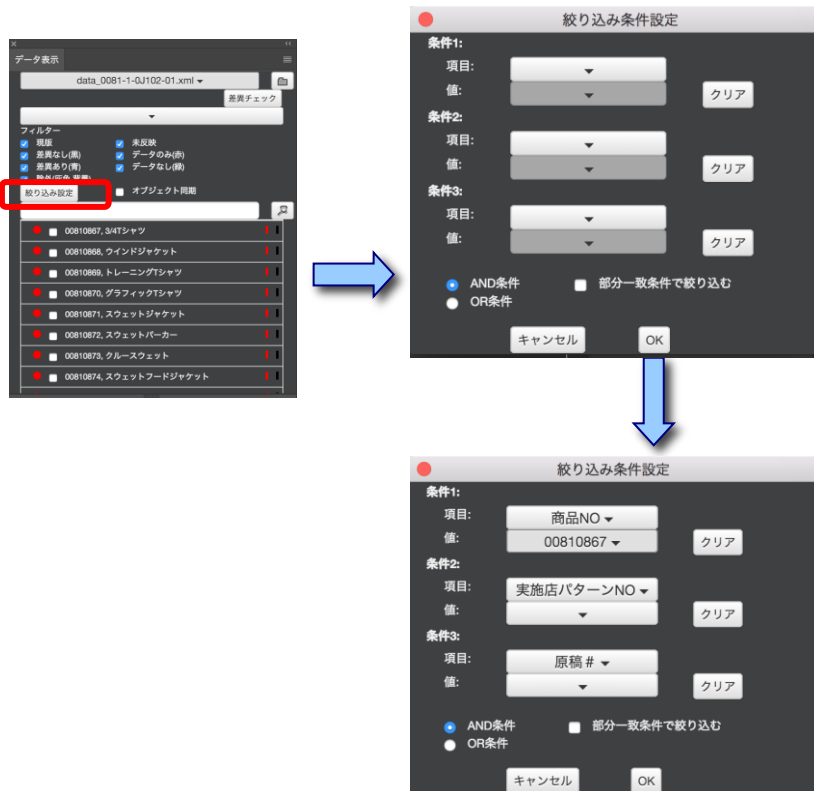
データ項目の値により、データを絞り込むことができます。

大規模で分業する場合などに、自分の作業担当分のデータのみを表示して作業できます。

「データ表示」パネルの[絞り込み設定]ボタンをクリックします。

「絞り込み条件設定」画面が表示されます。

条件を設定し、[OK]ボタンをクリックすることで、データ一覧リストの内容が絞り込まれます。



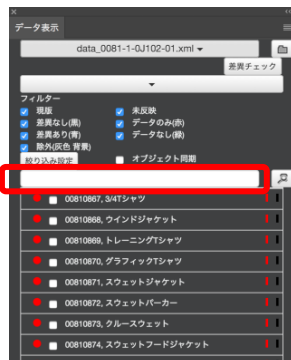
※ 設定できる条件は3つまでとなります。

※ それぞれ任意にデータ項目を選択することができます。

※ 値で選択できる内容は、データファイルの内容に存在するデータのみです。

4.2.7 フリーワード検索

データ一覧リストに表示されている内容を部分一致検索することができます。



検索ができるので、修正対象のデータをすばやく見つけることができます。

全ての校正項目を検索対象として、入力されたキーワードが部分一致するデータを検索します。

4.3 画像の表示

4.3.1 データとの自動マッチング

対応画像：EPS,JPG,JPE,JPEG,BMP,TIF,TIFF,PNG,PSD 形式（拡張子で判別します）

【XML データを読み込んだ場合】

データファイル内に画像ファイル名があれば、指定された画像フォルダからファイルを探します。

⇒ フォルダ階層の深さ、フォルダ名に関係なくファイルを探します。

【CSV データを読み込んだ場合】

データファイル内に画像ファイル名があり、且つ画像ファイル名を指定している属性名が「画像定義ファイル」に記載されている場合、指定された画像フォルダからファイルを探します。

⇒ フォルダ階層の深さ、フォルダ名に関係なくファイルを探します。

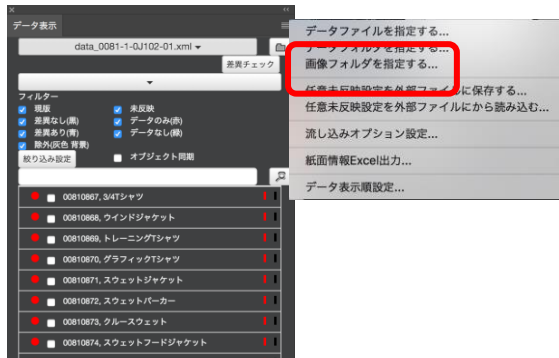
4.3.2 画像フォルダを指定する

データファイル（「*.xml」または「*.csv」）を選択時に、選択されたデータファイルの格納フォルダが画像フォルダとして初期設定されます。

データ表示 パネルから画像フォルダを指定する

「データ表示」パネルのパネルメニューから「画像フォルダを指定する」を選択します。

「フォルダ選択ダイアログ」が表示されますので、画像の格納されているフォルダを選択します。



画像一覧 パネルから画像フォルダを指定する

「画像一覧」パネルのパネルメニューから「画像フォルダを指定する」を選択します。

「フォルダ選択ダイアログ」が表示されますので、画像の格納されているフォルダを選択します。



4.3.3 画像のサムネイル表示

データ表示 パネル上で選択されたデータ（レコード）に関連付く画像を一覧表示します。

「データ表示」パネル上で、データを1件選択すると、「画像一覧」パネルにその内容が表示されます。



「画像一覧」パネルの更新

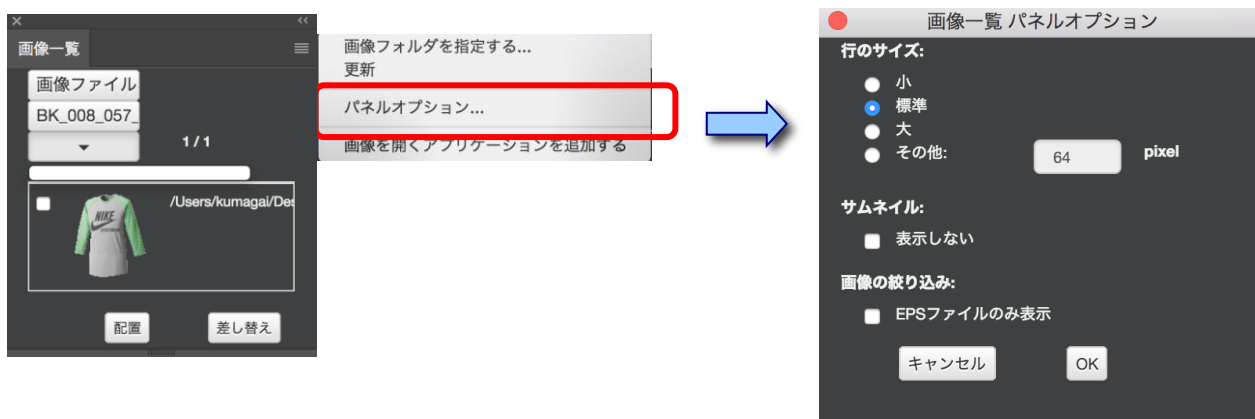
「画像一覧」パネルのパネルメニューから「更新」を選択します。

画像フォルダに格納されている画像を変更した場合や、画像ファイルを追加した場合などに、その内容を画像一覧パネルに反映することができます。



画像一覧パネルのパネルオプション

「画像一覧」パネルの「パネルオプション」を設定すると、サムネイル画像のサイズや、表示画像の絞込が行えます。



4.4 データの割り付け（流し込み）と更新

ドキュメント上へデータを割り付ける方法はいくつかありますが、いずれもデータとの紐付け情報を持つことができます。

あらかじめデータ項目とオブジェクトとのマッピング設定をしておかなくても、マッピングを自動で行うこともできます。

4.4.1 小組テンプレートへデータを割り付ける

ドキュメント上のテンプレート（選択範囲）へデータを割り付けます。

（選択範囲は、1つ以上のフィールドを含んでいる必要があります。）

テンプレートの貼付け

「テンプレート一覧」パネルから、使用するテンプレートを選択します。

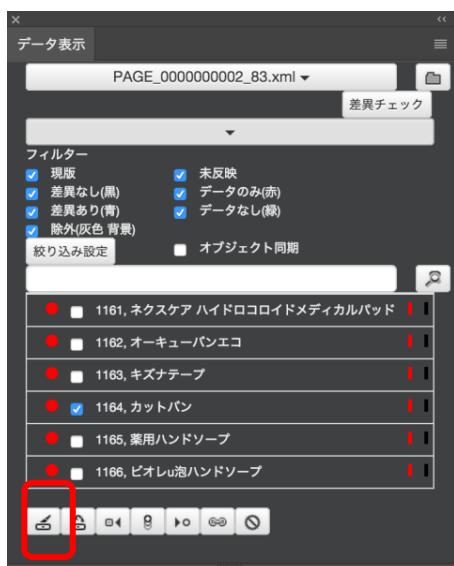
「テンプレート一覧」パネルで選択したテンプレートをドキュメントに貼り付けるには、「テンプレート配置」ツールを使用します。

テンプレートへのデータの割り付け

貼り付けられたテンプレートへデータを割り付けます。

1件のデータを割り付ける

ドキュメント上の貼り付けられたテンプレートが選択されている状態で、「データ表示」パネルから割り付けたいデータを1件選択し、[データの割り付け]ボタンをクリックします。

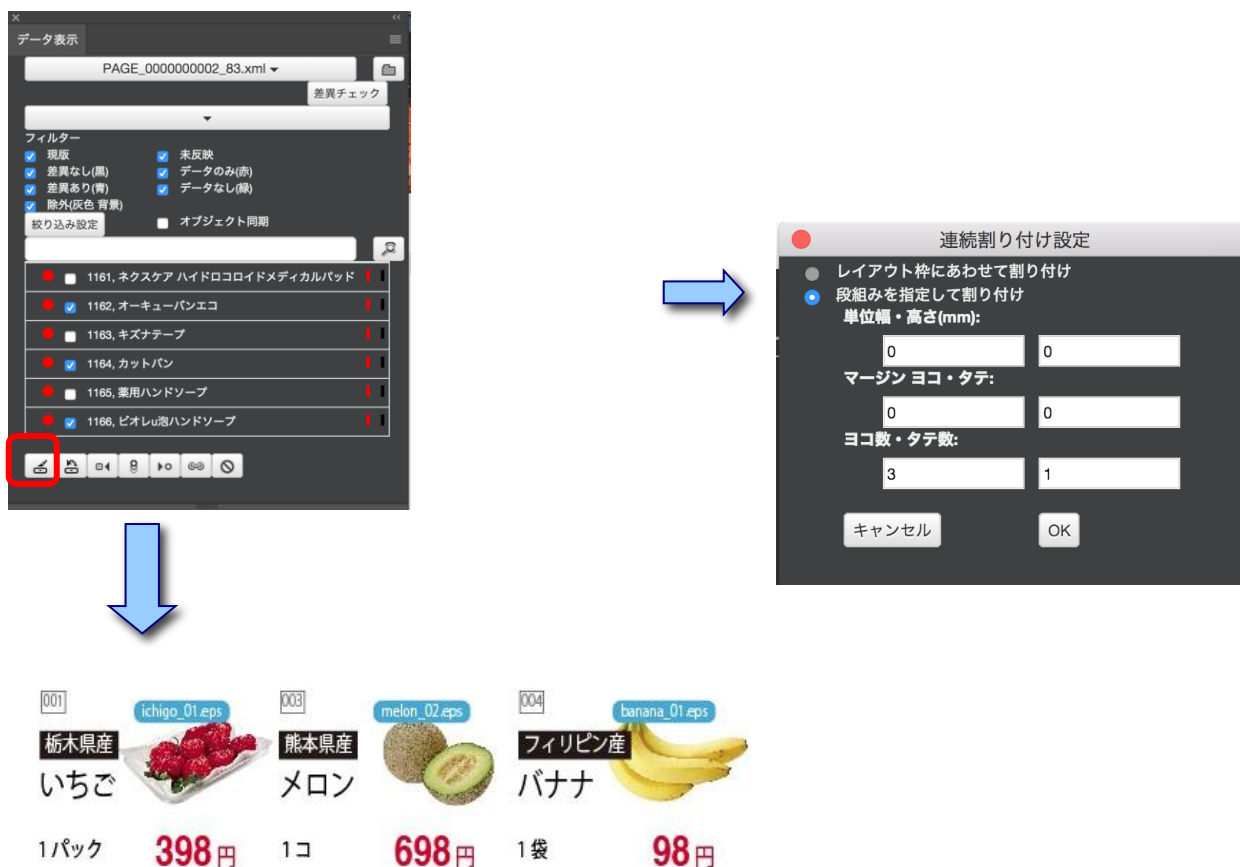


複数件のデータを割り付ける（連続流し込み）

ドキュメント上の貼り付けられたテンプレートが選択されている状態で、「データ表示」パネルから割り付けたいデータを複数選択し、[データの割り付け]ボタンをクリックします。

「連続割り付け設定」ダイアログが表示されます。

[OK]ボタンをクリックすると、設定内容に基づいて連続割り付けが実行されます。



4.4.2 アートオブジェクトへ項目データを割り付ける

ドキュメント上で選択されているオブジェクトへ項目データを割り付けます。

この方法は、あらかじめオブジェクトを項目とマッピングしておく必要がありません。

テンプレート以外のテキストフィールド（ポイントテキストおよび、エリアテキスト）へのデータの割り付けは、項目単位で行うことができます。

4.4.3 ドキュメントへ項目データを割り付ける

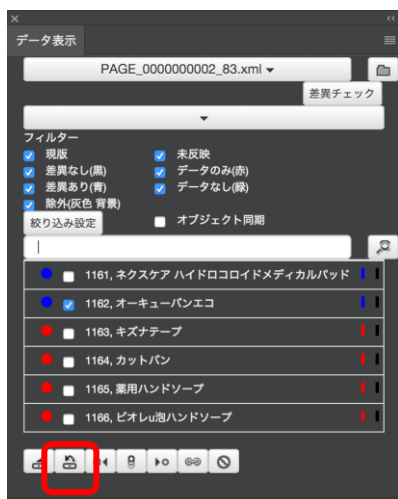
ドキュメント上にポイントテキストを追加し、項目データを割り付けます。

この方法は、あらかじめオブジェクトを項目とマッピングしておく必要がありません。

4.4.4 更新データをフィールド（アートオブジェクト）に反映する

データ表示 パネルからの反映

「データ表示」パネル上で反映を行うデータを選択し、[差異をオブジェクトへ反映]ボタンをクリックします。



データ詳細表示 パネルからの反映

「データ詳細表示」パネル上で反映を行うデータを選択し、[差異をオブジェクトへ反映]ボタンをクリックします。



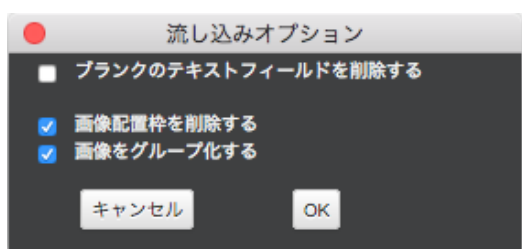
4.4.5 流し込みのオプション

割り付けデータの無いフィールドを削除する（オプション）

データ表示 パネルのパネルメニューにある「空白のテキストフィールドを削除する」を選択することで、On/Off を切り替えることができます。

画像配置枠を削除する（オプション）

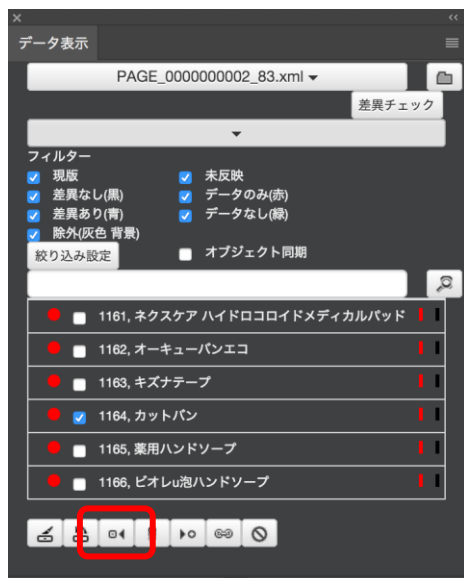
データ表示 パネルのパネルメニューにある「画像配置枠を削除する」を選択することで、On/Off を切り替えることができます。



4.4.6 データの割り付け先フィールド（アートオブジェクト）を探す

データ表示 パネルからフィールドを選択する

データ表示 パネルの「フィールド選択」ボタンをクリックすることで、データー一覧上で選択されているデータが割り付けられているオブジェクトを選択することができます。



データ詳細表示 パネルからフィールドを選択する

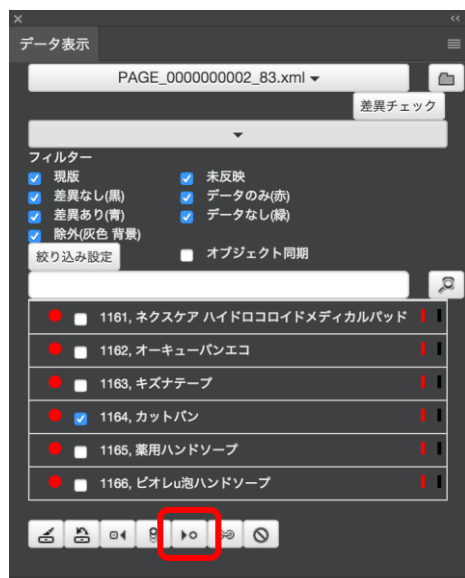
データ詳細表示 パネルの「フィールド選択」ボタンをクリックすることで、データ項目一覧上で選択されているデータ項目が割り付けられているオブジェクトを選択することができます。



4.4.7 アートオブジェクトから割り当てられているデータを探す

データ表示 パネルを使用してオブジェクトからデータを選択する

ドキュメント上でアートオブジェクトを選択し、データ表示 パネルの「データ選択」ボタンをクリックすることで、選択されているオブジェクトに割り付けられているデータを選択状態にすることができます。



データ詳細表示 パネルを使用してオブジェクトからデータを選択する

ドキュメント上でアートオブジェクトを選択し、データ詳細表示 パネルの「データ選択」ボタンをクリックすることで、選択されているオブジェクトに割り付けられているデータ項目を選択状態にすることができます。



4.5 画像の配置と差し替え

4.5.1 画像一覧パネルから画像を配置する

長方形ツールを使用して、画像の配置位置に枠を描きます。

作成した長方形を選択した状態で、画像一覧パネル上で画像を選択し、[配置]ボタンをクリックします。

配置される画像は、リンク画像です。（埋め込みではありません。）

4.5.2 画像の自動配置

テンプレート作成時に、画像配置枠を作成しておく、テンプレートへのデータ割り付け時に、関連付く画像を配置します。

画像配置枠内に収まるように拡大・縮小をして画像を配置します。

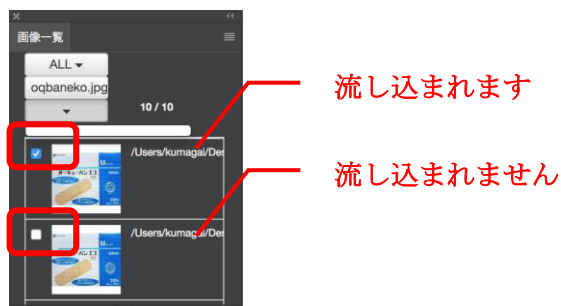
配置される画像は、リンク画像です。（埋め込みではありません。）

4.5.3 配置画像の選択設定

「画像一覧」パネル上で、配置画像の選択設定ができます。

1 つの商品に対して複数の画像が関連づいている場合、「データの割り付け」を行う前に設定しておきます。初期状態では、全て配置される設定になっています。

画像の左にあるチェックボックスをクリックすることで、設定ができます。



※ この設定は、「データ表示」パネル上の[データの割り付け]ボタン及び、[差異をオブジェクトへ反映]ボタンの処理において有効です。「画像一覧」パネル上の[配置]、[差し替え]ボタンは、この設定に影響されません。

4.5.4 配置画像の差し替え

ドキュメント上に配置済みの画像（リンク画像）を画像一覧パネル上で選択されている画像に差し替えます。

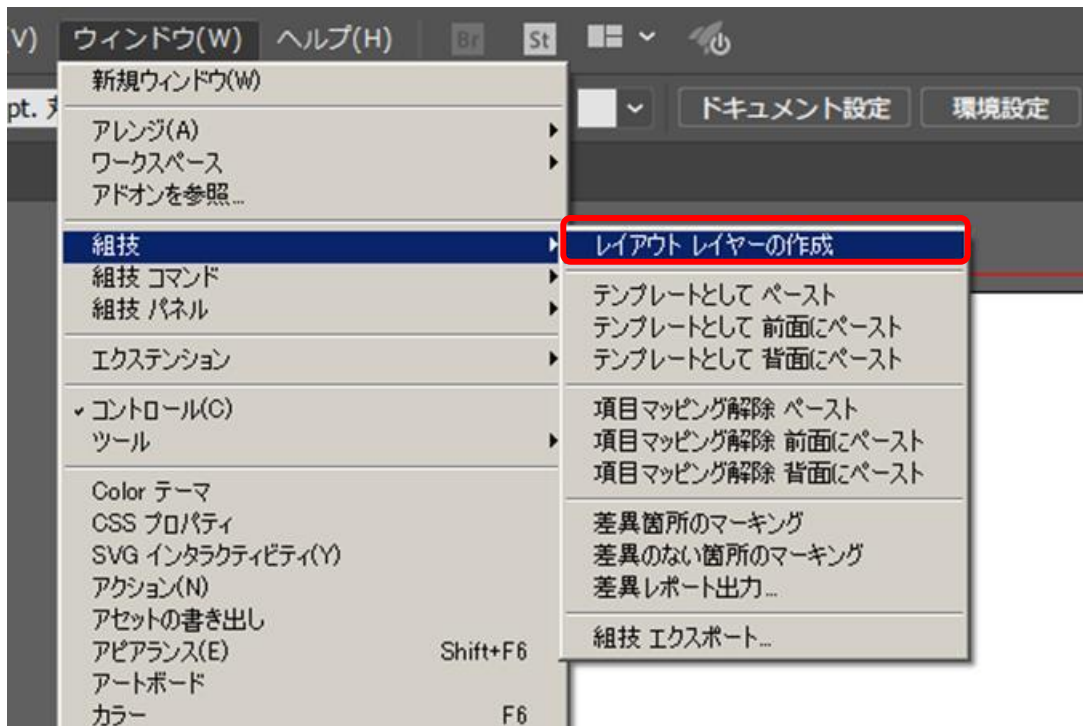
4.6 レイアウト枠を使用した割り付け（流し込み）

4.6.1 レイアウト テンプレートの作成

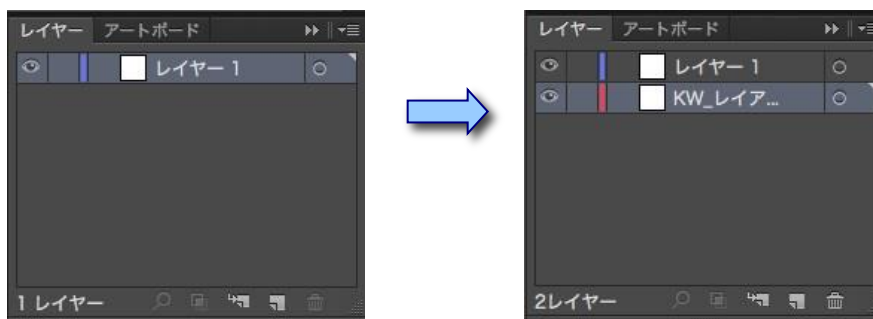
レイアウトレイヤーの追加

レイアウトを作成するためのレイヤーをドキュメントに追加します。

レイアウトレイヤーを追加するには、メニューから
[組技]-[レイアウト レイヤー作成] を選択します。



“KW_レイアウト” という名前のレイヤーが作成されます。

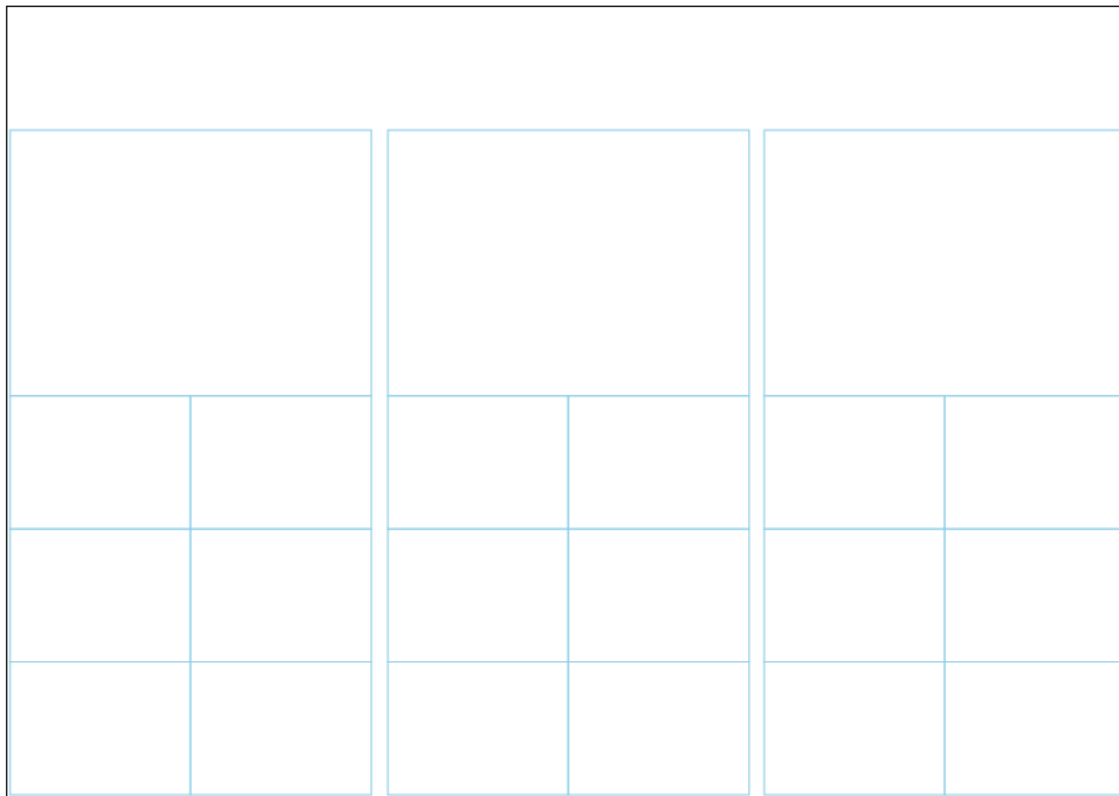


注意！！：“KW_レイアウト” レイヤーの名前は変更しないでください。

レイアウト枠の作成

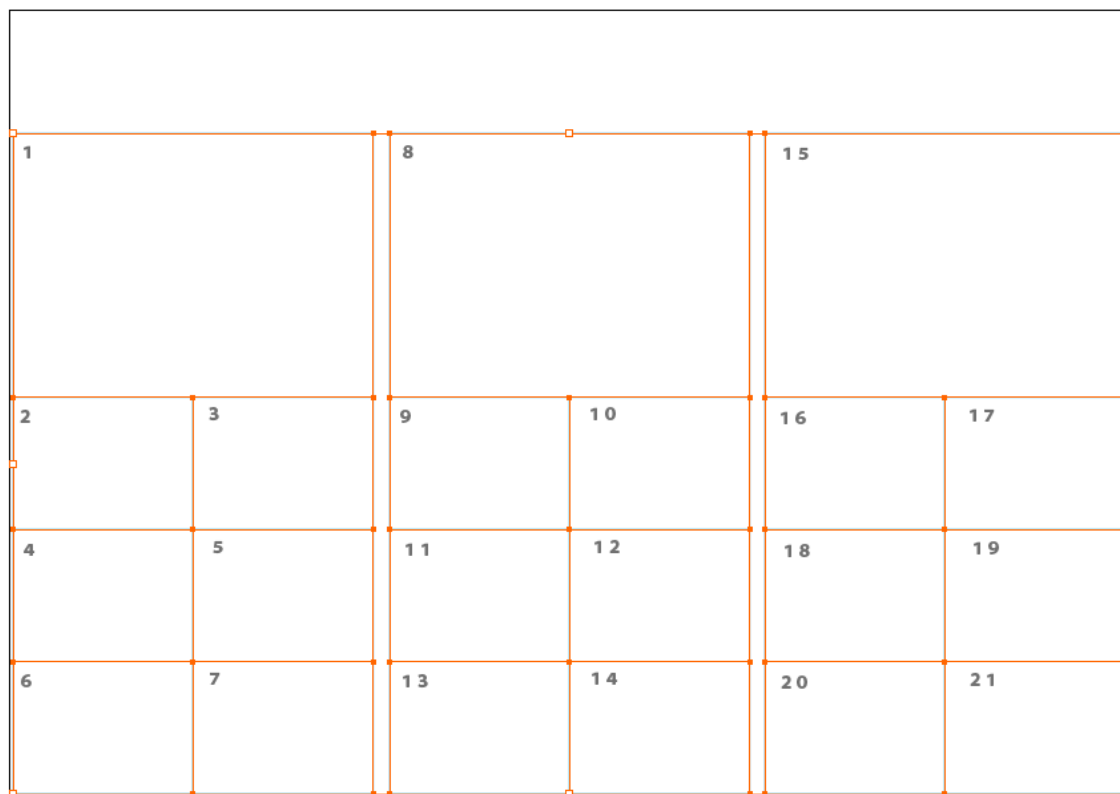
“KW_レイアウト” レイヤーに対して、長方形ツールを使用して、長方形（パス）を配置していきます。

また、[オブジェクト]-[パス]-[段組設定...] などを使用し、段組を作成していきます。



割り付け順の設定

割り付け順（地番）は、配置した長方形（パス）の並び順になります。



配置した長方形の並び順は、「レイヤー」パネルで確認できます。

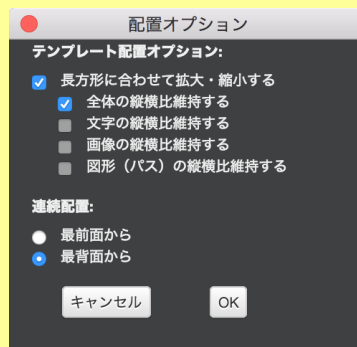


流し込み順について

商品の流し込まれる順番は、「紙面割り」レイヤー上での長方形（パス）の並び順となります。

これは、レイヤー上でのオブジェクトの前面/背面の並び順です。

組技の初期設定では、「連続配置」設定が「最背面から」になっていますので、「レイヤー」パレットの下から上に向かって処理されます。

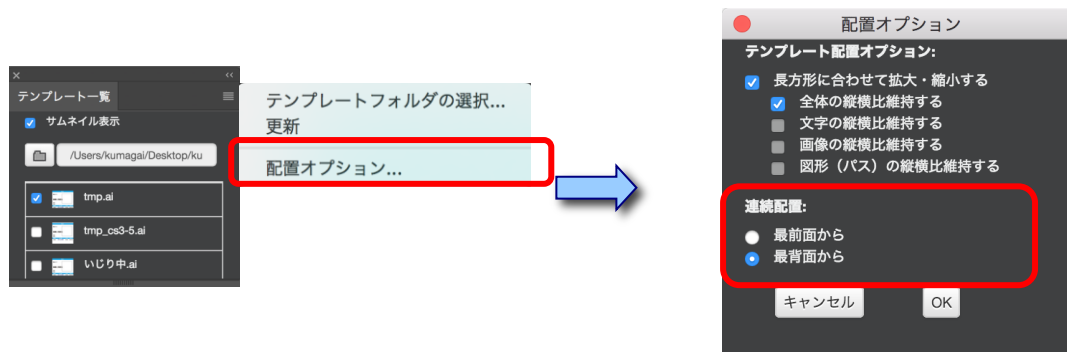


4.6.2 レイアウトテンプレートへのデータの割り付け（流し込み）

割り付け順の基準設定

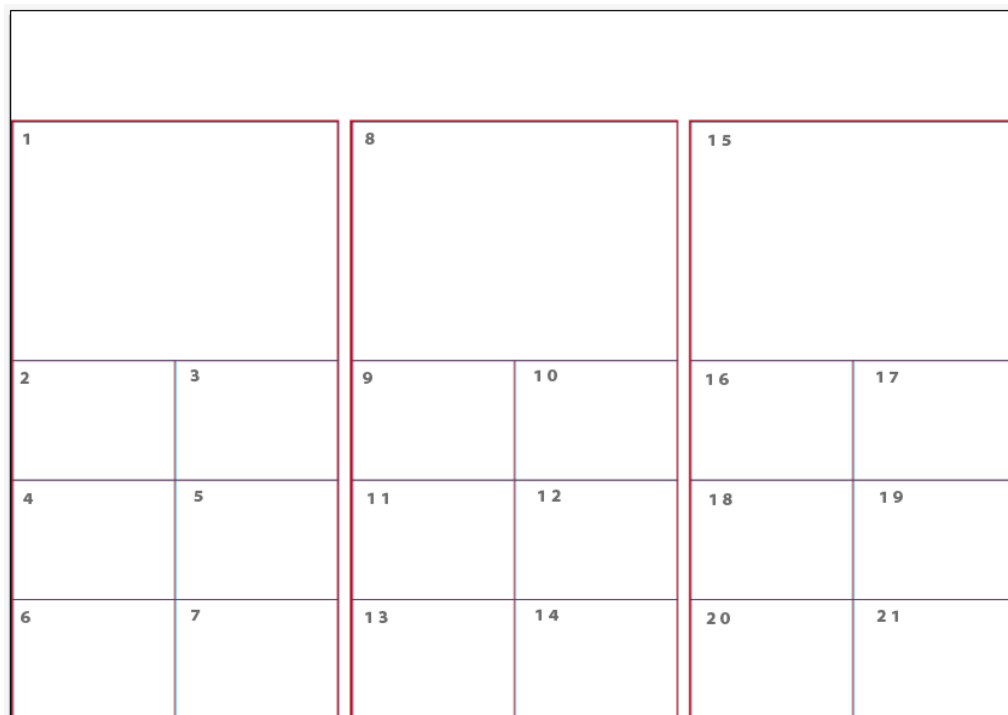
割り付け順は、「最背面から」、「最前面から」のどちらかを選択することができます。
初期設定では、「最背面から」になっています。

変更するには、「テンプレート一覧」パネルのパネルメニューから[配置オプション]を選択し、「連続配置」設定を変更します。



レイアウトテンプレートへのデータの割り付け（流し込み）

ドキュメントに「KW_レイアウト」レイヤーがある場合、「KW_レイアウト」レイヤー上に配置された長方形（パス）に合わせて、小組みテンプレートを配置し、データを割り付けることができます。
まず、あらかじめ作成されているレイアウトテンプレートファイル（*.ai）を開きます。
例として、下のようなレイアウトテンプレートがあるとします。



使用する小組みテンプレート及び、割り付けたい商品を選択します。

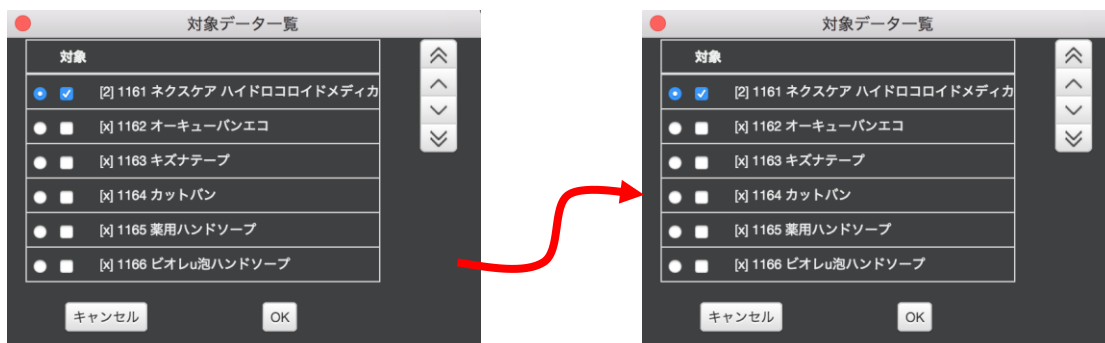


「データ表示」パネルの[データの割り付け]ボタンをクリックすると、「連続割り付け設定」画面が表示されますので、「紙面割り矩形に合わせて割り付け」が選択されていることを確認して[OK]ボタンをクリックします。

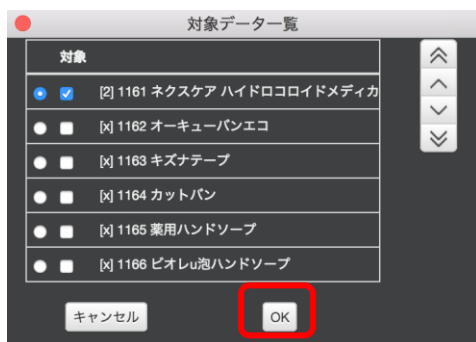


「対象データ一覧」画面が表示されます。










ここで、商品の割り付け順を変更することもできます。



[データの割り付け] ボタンをクリックします。



割り付けが完了すると、下のようになります。

1	 栃木県産 いちご 1パック 398円	8	 国産 牛サーロインステーキ 100g 880円	15	 宮城県産 かき(生食用) 1パック 498円						
2	 宮城県産 みかん 1ネット 298円	3	 宮城県産 メロン 1コ 698円	9	 国産 牛挽き肉用もも 100g 720円	10	 国産 小間切れ(牛) 100g 198円	16	 国産 寄せ鍋セット 1パック 789円	17	 宮城県産 キャベツ 1コ 88円
4	 フィリピン産 バナナ 1箱 98円	5	 宮城県産 りんご 1パック 398円	11	 国産 豚しゃぶしゃぶ用 100g 128円	12	 国産 豚モモ肉 100g 138円	18	 宮城県産 まうれん草 1箱 99円	19	 宮城県産 レタス 1コ 128円
6	 フィリピン産 カットパイナップル 1パック 298円	7	 宮城県産 ぶどう 1箱 298円	13	 ロシア産 たらばがに(生) 1パック 1,980円	14	 国産 魚(刺身用) 1匹 2,980円	20	 宮城県産 ジャガイモ 1箱 300円	21	 宮城県産 きゅうり 1本 45円

4.7 ペースト機能の拡張

4.7.1 レコードリンクを維持してペーストする

この機能は、Illustrator 標準の[編集]メニューにある操作で行います。

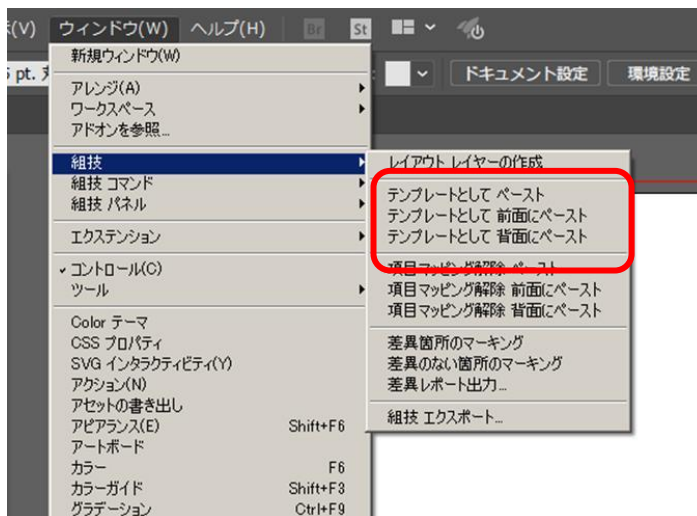
4.7.2 レコードリンクを解除してペーストする

貼り付け時にデータリンクの解除をします。

項目とのマッピング情報は維持されます。

データとの関連付けが削除されます。

テンプレートとして再利用でき、データの割り当てができます。



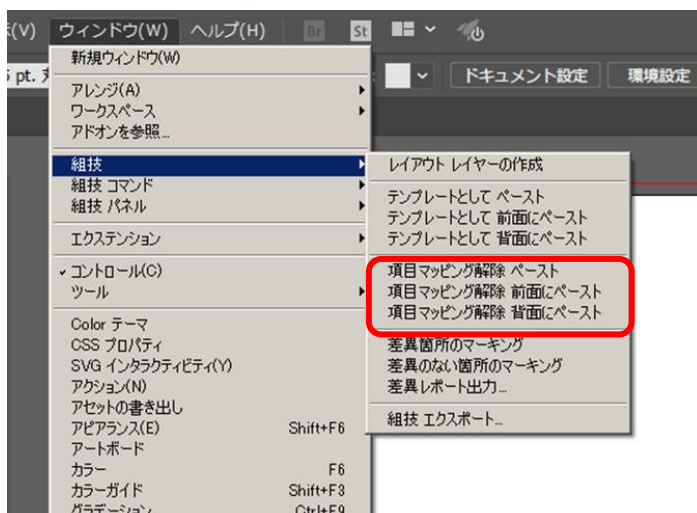
4.7.3 マッピングリンクを解除してペーストする

貼り付け時にデータリンクの解除をします。

項目とのマッピング情報も削除されます。

データとの関連付けが削除されます。

テンプレートとしての再利用はできませんが、データ項目単位での割り付けは可能です。




4.8 コメント

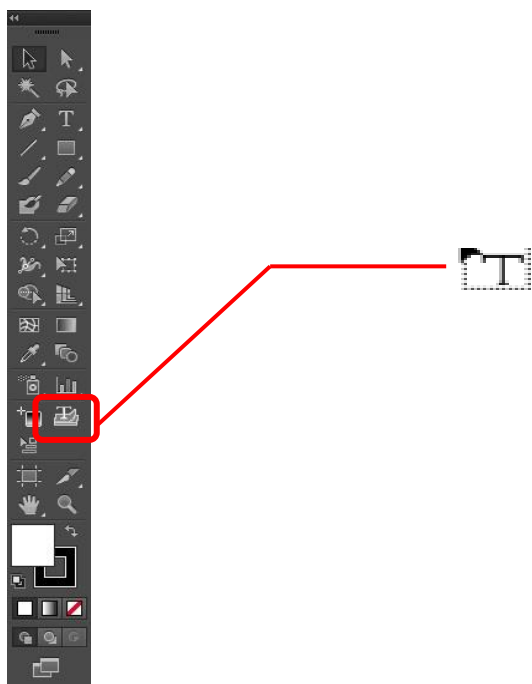
作成している紙面に対し、作業指示など、コメントとして残しておきたい内容を簡易的に記述しておくことができます。

4.8.1 コメントの作成

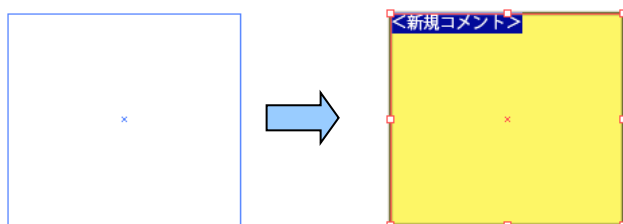
コメントの作成には、「コメント作成」ツールを使用します。

コメント作成 ツール

「コメント作成」ツールを選択すると、マウスカーソルが  に変わります。



ドキュメント上でドラッグすると、ドラッグされた範囲の大きさでコメント枠を作成します。

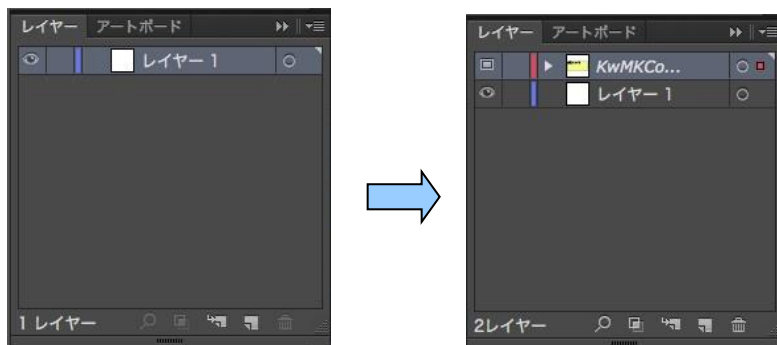


ドキュメント上の余白をクリックすると、クリックされた位置を左上隅の座標としてコメント枠を作成します。

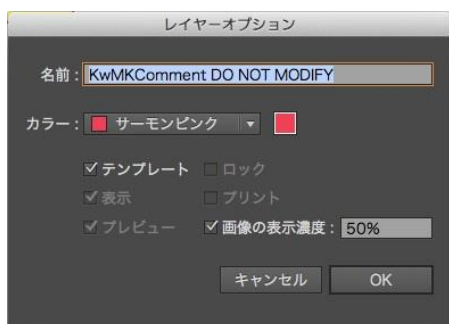
※ コメント枠は、背景色の設定されたエリアテキストです。

コメント配置専用レイヤーについて

コメント作成ツールを使用して、コメント枠を作成すると、コメント配置用の専用レイヤーが自動的に追加されます。



地番枠配置用のレイヤーは、初期設定としてテンプレートレイヤーとして設定されていますが、用途に合わせて、任意に変更することができます。

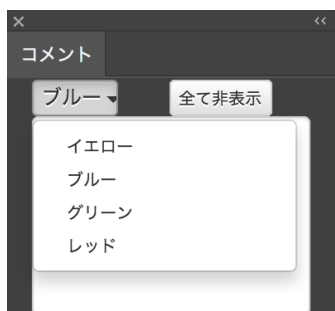


注意！：レイヤーの名前は変更しないでください。

4.8.2 コメント枠の背景色変更

コメント パネルから、コメントの背景色の変更ができます。

背景色を変更するには、コメントパネルの背景色のポップアップメニューから選択します。



5 比較機能

データを取り込むだけの一方通行ではありません。

本プラグインでレイアウトされたオブジェクトは、取り込んだ入力データとの関連付けを持っているため、入力データの変更や、Illustrator 上での変更をボタンひとつで確認することができます。

プリントアウトしたデータリストと Illustrator で作成した原稿との目視でのチェック作業から開放されます。

5.1 データとの差異チェック

文字データと Illustrator のドキュメント上のオブジェクトとを比較します。

変更が入った場合などの修正漏れをなくします。

Illustrator のドキュメント上に相違点を色分けで明示することができます。

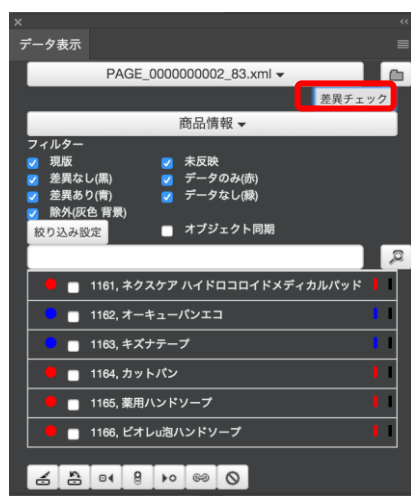
また、レポートとして別ファイル（Excel 形式）に出力することもできるため、校正元などへ提示するレポートとして使用することも可能です。

5.1.1 差異チェックの実行

ドキュメントの Open 時、データファイルの Open 時に差異チェックが自動的に実行されます。

また、ドキュメントの切り替え時にも自動的に実行されます。

「データ表示」パネルの[差異チェック]ボタンをクリックすることで、ユーザが任意のタイミングで差異チェックを実行することもできます。



5.1.2 パネル上での色分け表示

「データ表示」パネル及び、「データ詳細表示」パネルにおいて、差異チェックでの色分け表示をします。



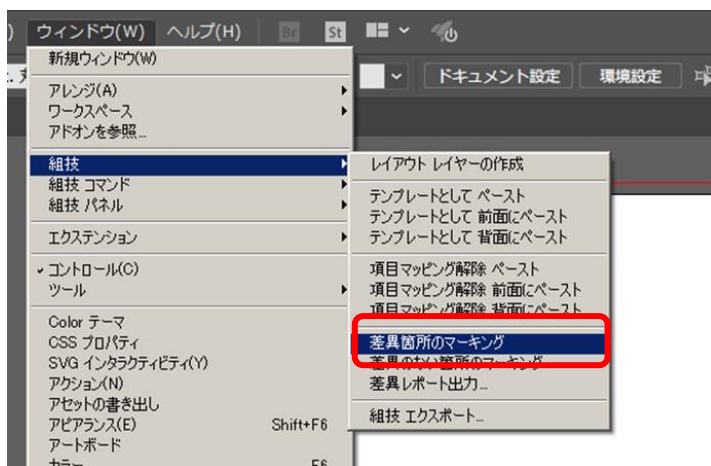
色	説明
黒	差異なし
赤	データのみ
青	差異あり
緑	データなし

5.1.3 ドキュメント上での色分け

ドキュメント上に、データとの差異を明示するためのレイヤーを追加し、マーキングします。

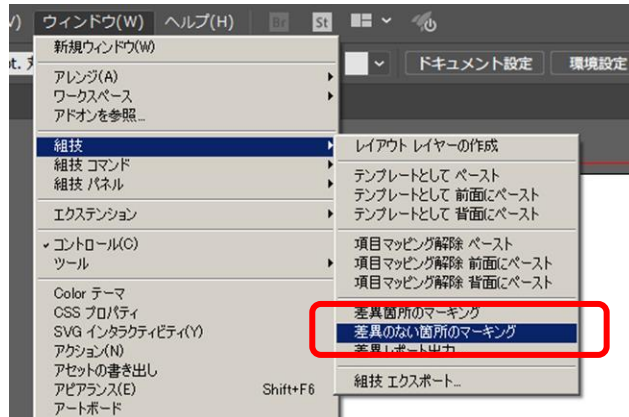
差異箇所をマーキングする

差異箇所をマーキングするには、「組技」メニューの「差異箇所のマーキング」を選択します。



差異のない箇所をマーキングする

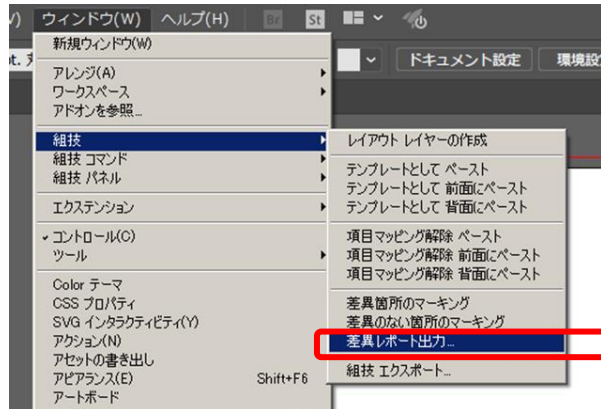
差異のない箇所をマーキングするには、「組技」メニューの「差異のない箇所のマーキング」を選択します。



5.1.4 レポート出力

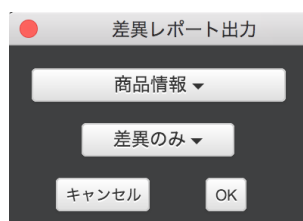
データとの差異を Excel ファイル形式で出力します。

「組技」メニューの「差異レポート出力」を選択します。

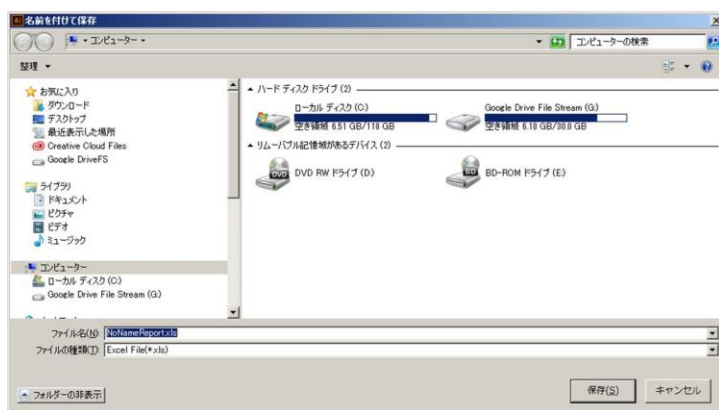


「差異レポート出力選択」画面が表示されます。

レポートに出力するデータグループ及び、範囲を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、出力ファイル名を指定してください。



レポートの出力が完了すると、次のようなメッセージが表示されます。

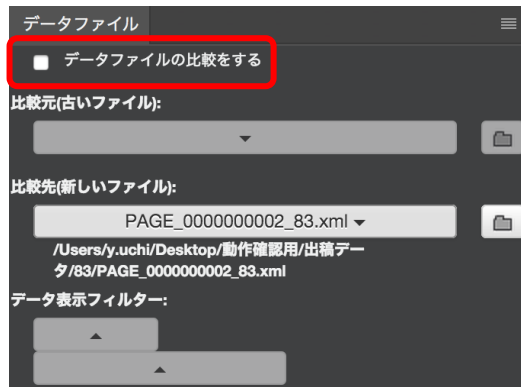


5.2 データ同士の比較

データファイル パネルを使用して、データファイル同士の比較を行うことができます。

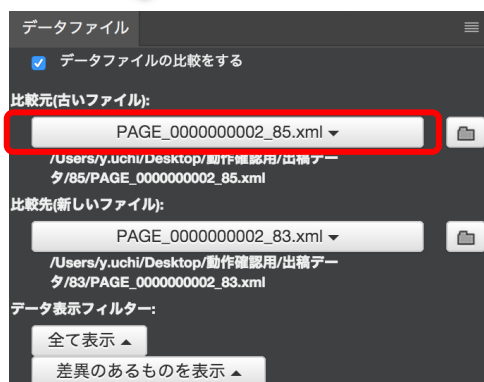
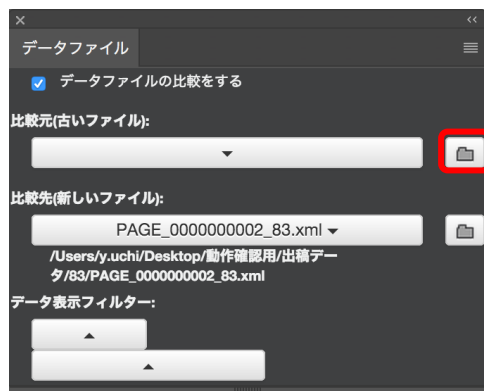
※CSV では、データ比較はできません。

データファイル同士の比較を行うには、データファイル パネルの「データファイルの比較をする」チェック Box にチェックを付けます。



5.2.1 比較元/比較先のデータファイルを指定する

「データフォルダの指定」ボタンをクリックし、データフォルダを指定します。



データフォルダが指定されると、フォルダ内のデータファイル(*.xml)がファイル選択リストで選択可能になりますので、比較したいファイルを選択します。

5.2.2 パネル上での色分け表示

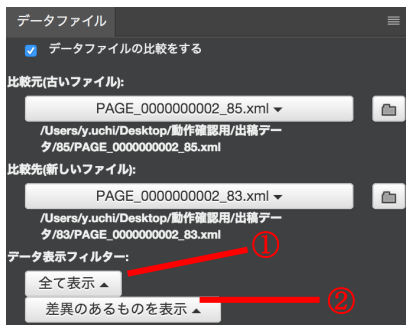
「データ表示」パネル及び、「データ詳細表示」パネルにおいて、色分け表示をします。



背景色	説明
白	差異なし
薄い赤	比較先データのみ
薄い青	差異あり
薄い緑	比較元データのみ

5.2.3 データ表示フィルター

「データファイル」パネルのデータ表示フィルターを設定することで、「データ表示」パネルの表示内容を絞ることができます。



① 表示データファイル選択リスト

全て表示	すべてのデータを表示します。
比較元のみ	比較元のデータのみを表示します。
比較先のみ	比較先のデータのみを表示します。

② 表示データ選択リスト

全て表示	すべてのデータを表示します。
差異のあるものを表示	差異なし（白背景）以外を表示します。
差異の無いものを表示	差異なし（白背景）のみ表示します。
差異 比較元のみ	比較元データのみ（薄い緑背景）のみ表示します。
差異 比較先のみ	比較先データのみ（薄い赤背景）のみ表示します。
差異データのみ	差異あり（薄い青背景のみ表示します。

5.3 差異チェック除外項目設定

5.3.1 項目マッピングパネルでの除外項目設定

データの項目単位に設定することができます。

作業時にデータを識別するためのデータ項目や作業指示など、ドキュメント上に配置しないデータ項目を差異チェックの対象から除外し、必要なデータ項目だけをチェック対象とすることができます。

「項目マッピング」パネルのパネルメニューから「差異チェック除外項目設定」を選択します。

「差異チェック除外項目設定」画面で除外する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。

リストの右端にある○をクリックすることで設定できます。



プラグインの「組技」フォルダに「notDiffFormat.cfg」ファイルが作成されます。

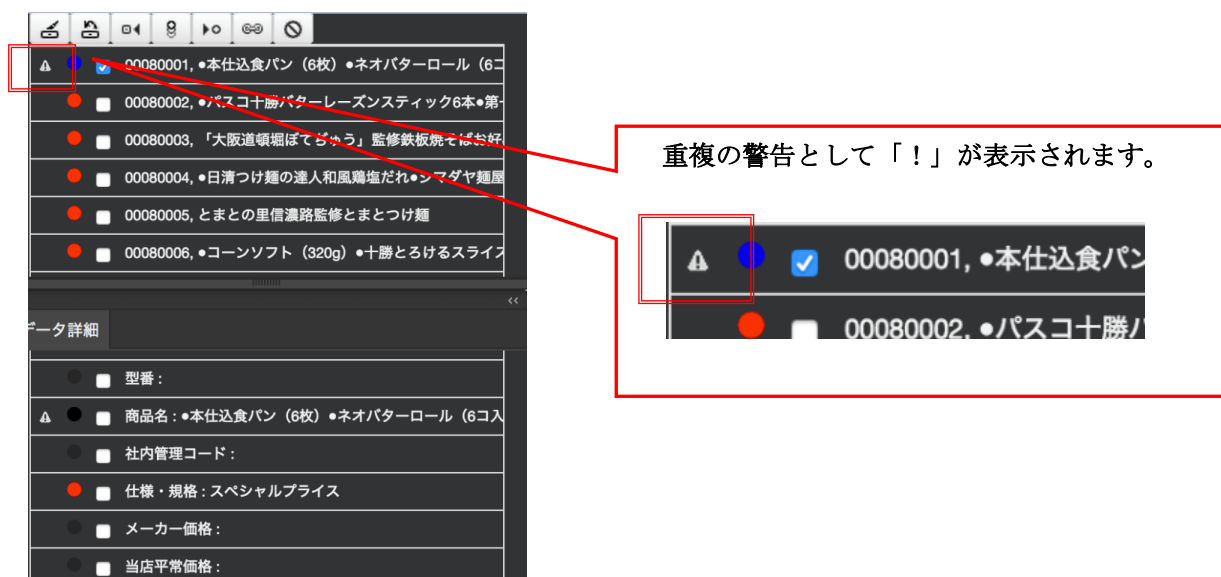
5.3.2 差異チェック対象外文字

以下の文字に対しては、差異チェックの対象外とします。

- ・改行
- ・タブ
- ・全角スペース、半角スペース
- ・全角<>、全角長体 <>
- ・黒丸の大と中

5.3.3 重複チェック

差異チェックを行った際、ドキュメント上に同じデータが複数存在すると、データー一覧、データー項目一覧に警告マークを表示します。(同一商品を割り付け時や、コピー&ペースト時)



重複が見つかった場合は、「フィールド選択」ボタンで、同じデータをドキュメントから探して修正（削除）してください。

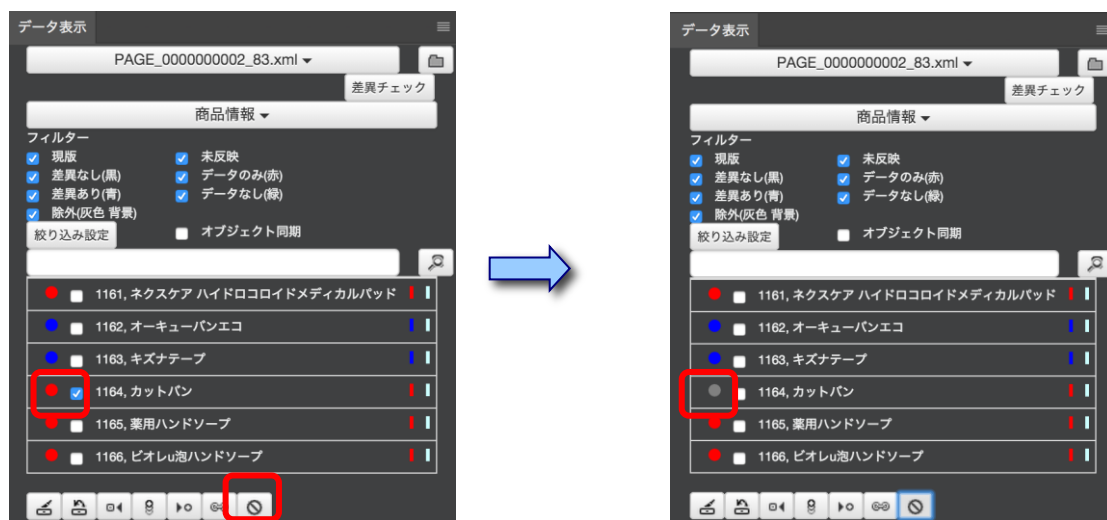
5.4 除外設定

除外設定は、AI ドキュメントに保存されます。

5.4.1 データ表示 パネルでの除外設定

差異チェック対象外としてマーク付けを可能とします。

「データ表示」パネル上で除外設定したいデータを選択し、[除外設定]ボタンをクリックします。
除外設定されたデータはグレーの背景色で表示されます。

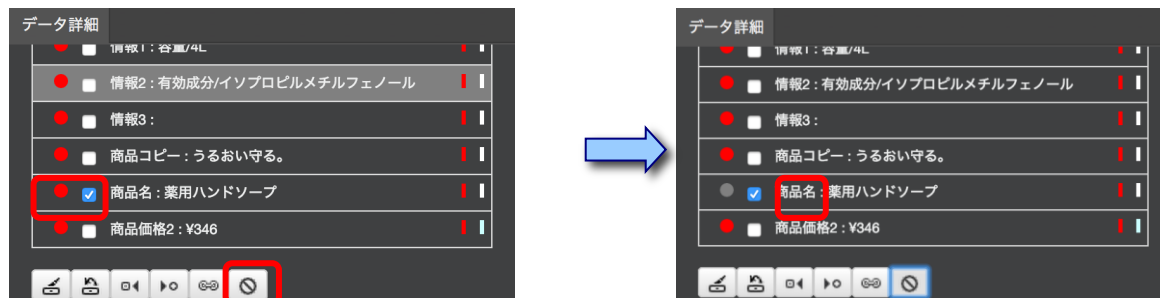


除外設定を解除する場合も同様に、[除外設定]ボタンをクリックします。

5.4.2 データ詳細表示 パネルでの除外設定

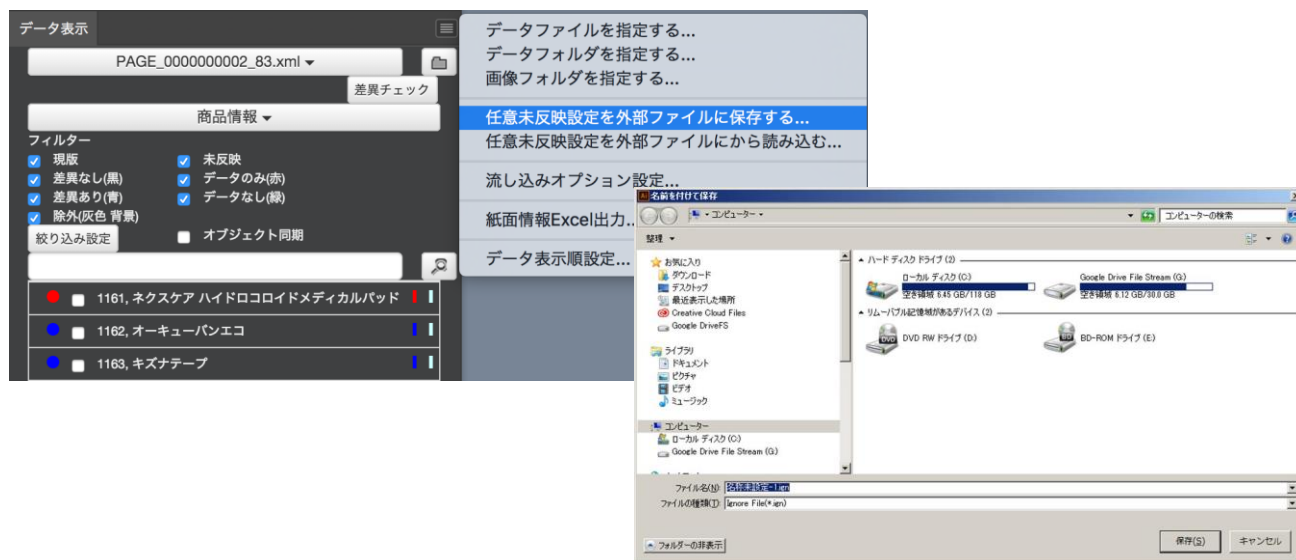
差異チェック対象外としてマーク付けを可能とします。

「データ詳細表示」パネル上で除外設定したい項目を選択し、[除外設定]ボタンをクリックします。
除外設定されたデータはグレーの背景色で表示されます。



5.4.3 除外設定を外部ファイルに保存する

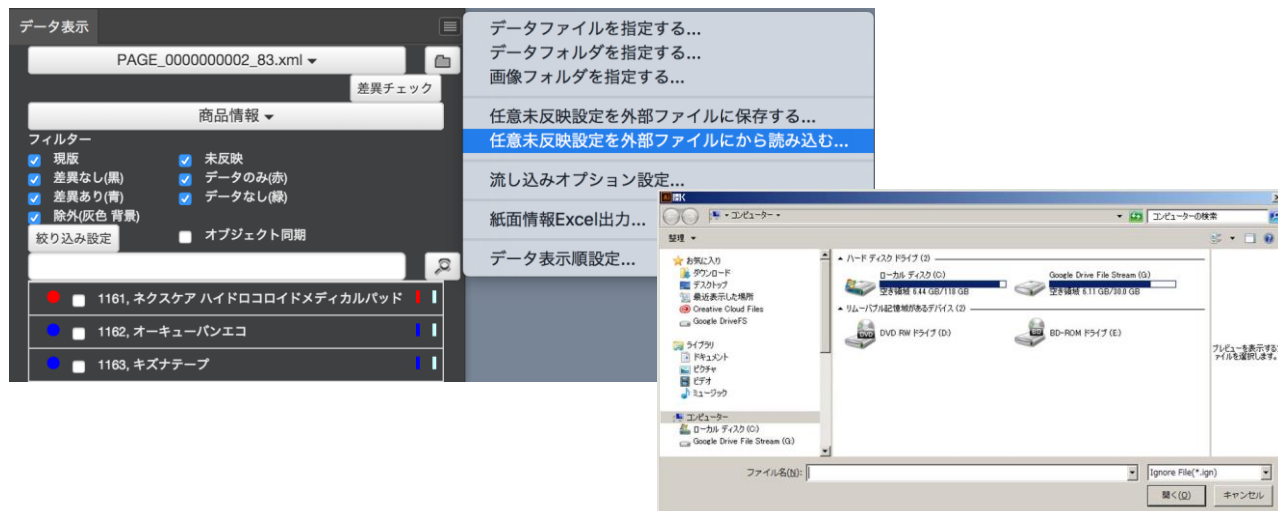
「データ表示」パネルのパネルメニューから「除外設定を外部ファイルに保存する」を選択します。
「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、保存先のファイル名を設定します。



除外設定を別の AI ドキュメントへ移行したい場合などに使用できます。

5.4.4 除外設定を外部ファイルから読み込む

データ表示 パネルのパネルメニューから、「除外設定を外部ファイルから読み込む」を選択します。
「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、保存した除外設定ファイルを指定します。

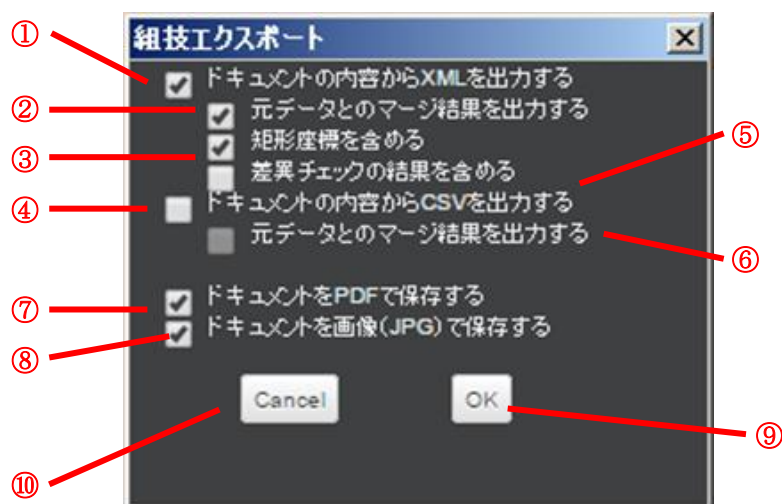


6 データのエクスポート

6.1 画面について

6.1.1 「組技 エクスポート」ダイアログ

「組技 エクスポート」ダイアログの各部の名称について説明します。



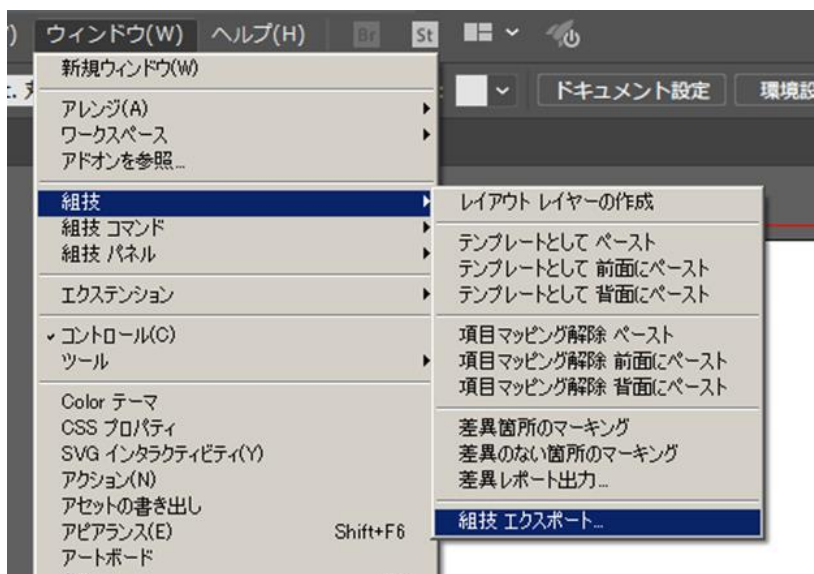
①	ドキュメントの内容から XML を出力する	XML を出力する場合、チェックを On にします。
②	元データとのマージ結果を出力する	チェックが Off の場合、ドキュメント上に配置されているデータのみを出力します。 チェックが On の場合、ドキュメント上に配置されていないデータ項目についても、出力する XML の内容に含めます。 ただし、使用されていないレコードについては、XML の内容に含まれません。
③	矩形座標を含める	ドキュメント上に配置されている各オブジェクトの座標を、出力する XML の内容に含めます。
④	差異チェックの結果を含める	データ項目単位での差異チェック結果ステータスを、出力する XML の内容に含めます。
⑤	ドキュメントの内容から CSV を出力する	CSV を出力する場合、チェックを On にします。
⑥	元データとのマージ結果を出力する	チェックが Off の場合、ドキュメント上に配置されているデータのみを出力します。 チェックが On の場合、ドキュメント上に配置されていないデータ項目についても出力する CSV の内容に含めます。 ただし、使用されていないレコードについては、CSV の内容に含まれません。
⑦	ドキュメントを PDF で保存する	PDF を出力する場合、チェックを On にします。
⑧	ドキュメントを画像 (JPEG) で保存する	JPEG を出力する場合、チェックを On にします。
⑨	OK ボタン	エクスポートを実行します。
⑩	キャンセル ボタン	エクスポートを中止します。

6.2 データの外部ファイル出力 (XML)

Illustrator でデザインした各オブジェクトの座標をデータとの関連付けを含めて、XML 形式で出力します。この XML に含められたオブジェクトの座標データは、「魅技」でのアイテムのクリック範囲として使用することができます。

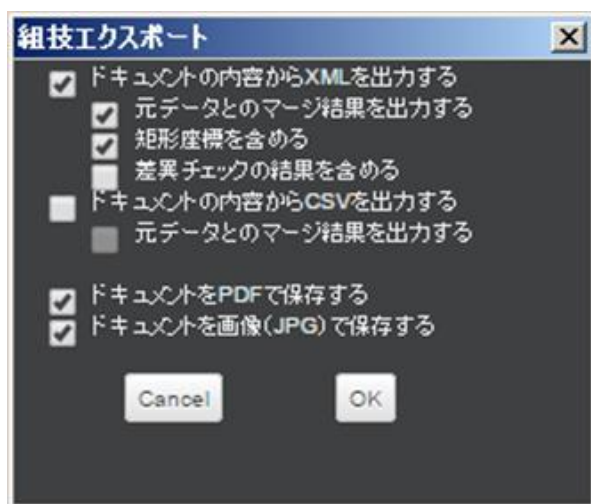
また、PDF や、JPEG も同時に出力を行う事で、ZIP ファイルにまとめて出力することもできます。

「組技」メニューの「組技 エクスポート...」を選択します。



「組技 エクスポート」ダイアログが表示されます。

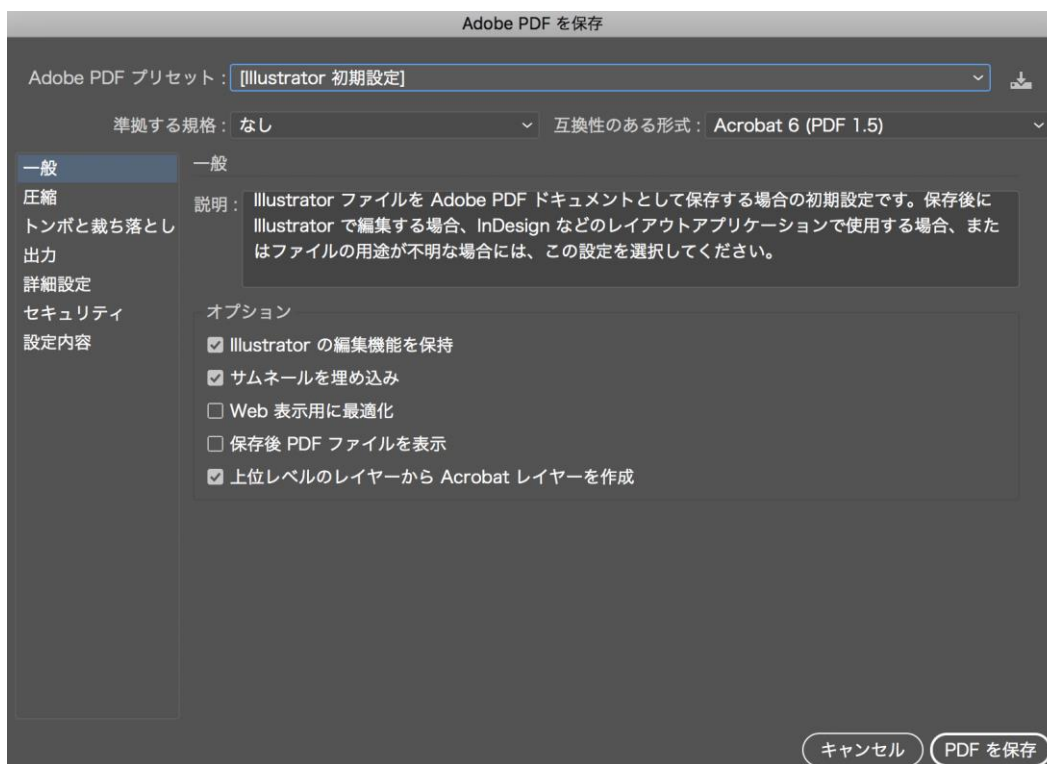
出力したい内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



※「魅技」でのクリック範囲を生成させるためには、「矩形座標を含める」チェックを必ず On にします。

「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、出力ファイル名を指定してください。

「ドキュメントを PDF で保存する」チェックを **On** に設定している場合、「Adobe PDF を保存」ダイアログが表示されますので、適宜設定を行い、[PDF を保存]ボタンをクリックしてください。

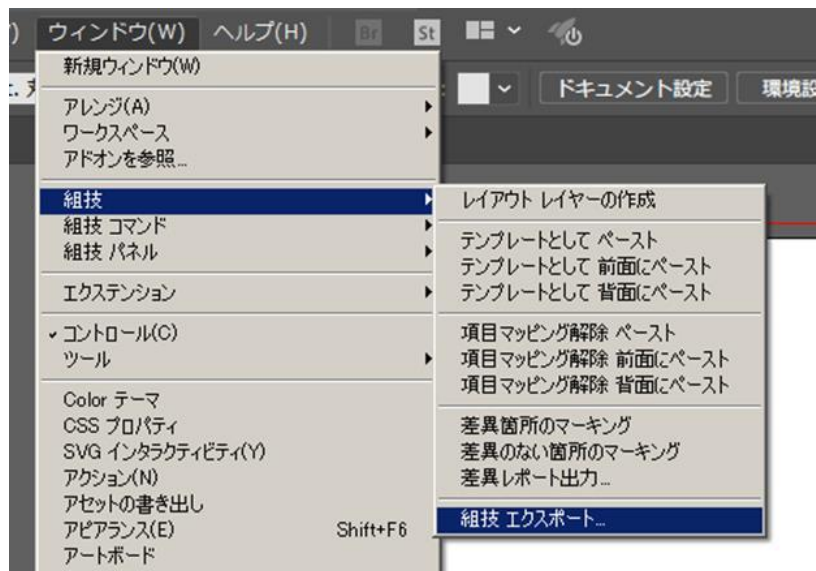


※ ここで[キャンセル]ボタンをクリックすると、「組技 エクスポート」の実行は中断されます。

6.3 データの外部ファイル出力 (CSV)

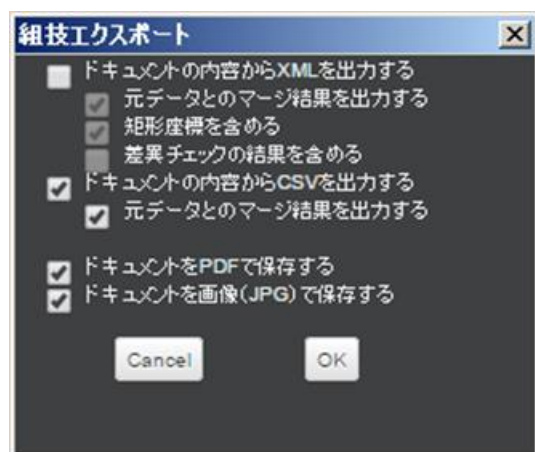
Illustrator でデザインした各オブジェクトのデータとの関連付けを含めて、CSV 形式で出力します。
また、PDF や、JPEG も同時に出力を行う事で、ZIP ファイルにまとめて出力することもできます。

「組技」メニューの「組技 エクスポート...」を選択します。



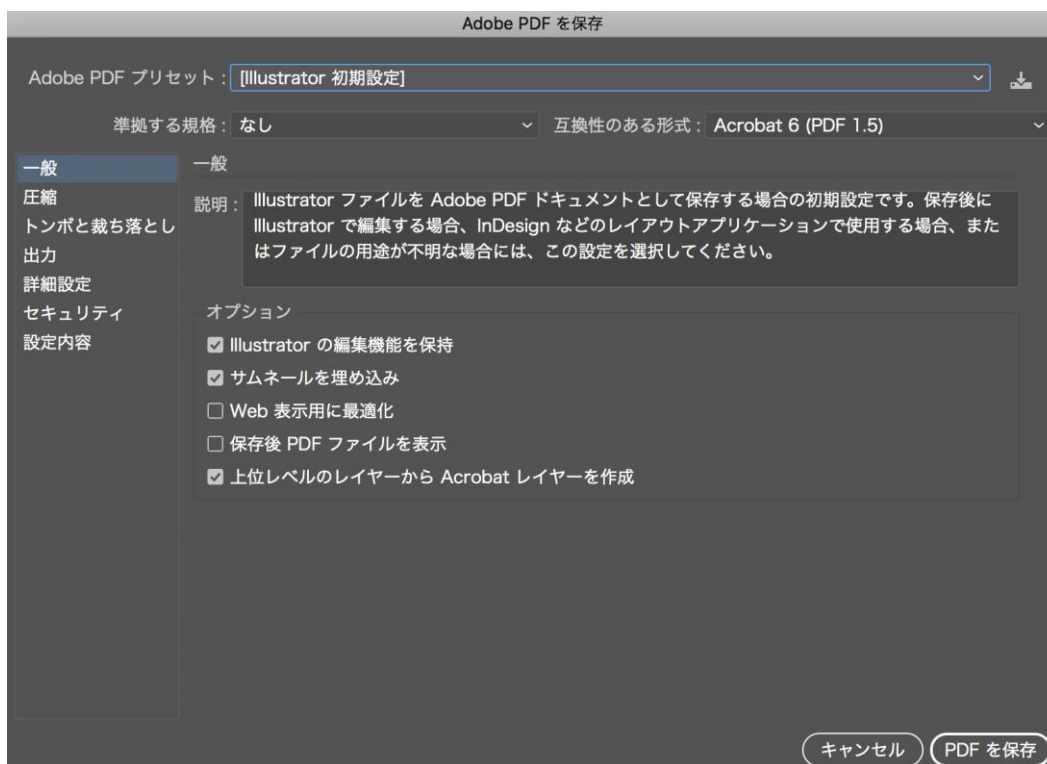
「組技 エクスポート」ダイアログが表示されます。

出力したい内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



「ファイル選択ダイアログ」が表示されますので、出力ファイル名を指定してください。

「ドキュメントを PDF で保存する」チェックを On に設定している場合、「Adobe PDF を保存」ダイアログが表示されますので、適宜設定を行い、[PDF を保存]ボタンをクリックしてください。



※ここで[キャンセル]ボタンをクリックすると、「組技 エクスポート」の実行は中断されます。

7 データについて

本プラグインは XML 形式のデータの他に、CSV 形式のデータも使用することができます。

また、CSV 形式のデータを使用する際には、「画像定義ファイル」というファイルが必要になります。

7.1 CSV データ

7.1.1 属性

CSV データを作成する際には 1 行目 (赤枠内) に「属性」と呼ばれる項目名を記載する必要があります。実際のデータは 2 行目以降に記載します。

1	ID,名称,ページ番号,正面画像,容量,成分,商品種別
2	1161, メディカルパッド,2,nekusukea.jpg,10枚,絆創膏,320-1000
3	1162,オーキューバンエコ,2,oqbaneko.jpg,20枚,,640-7000
4	1163,キズナテープ,2,kizuna.jpg,,,409-3000

7.1.2 固定属性

1 行目に記載する属性のうち、最初の 2 属性については固定となっており、下記のように「ID,名称」の形で記載する必要があります。

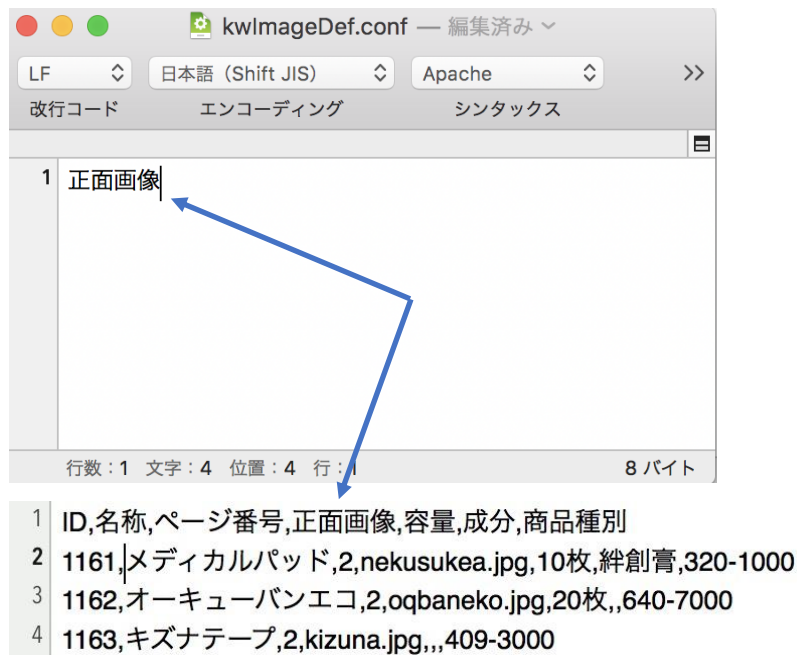
1	ID,名称 ページ番号,正面画像,容量,成分,商品種別
2	1161, メディカルパッド,2,nekusukea.jpg,10枚,絆創膏,320-1000
3	1162,オーキューバンエコ,2,oqbaneko.jpg,20枚,,640-7000
4	1163,キズナテープ,2,kizuna.jpg,,,409-3000

7.2 画像定義ファイル

7.2.1 画像定義ファイルについて

CSV データを使用する際には「画像定義ファイル」というファイルが必要になります。

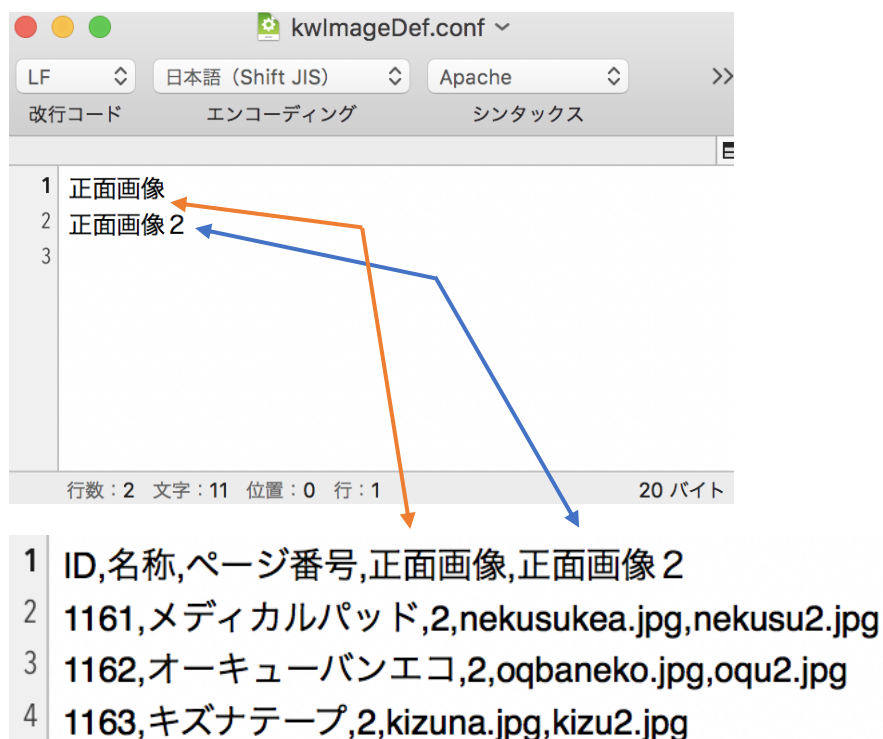
画像定義ファイルには「CSV データに記載した画像ファイルを指す属性名」を記載します。



※CSV に記載している属性名と画像定義ファイルの属性名は一致している必要があります。

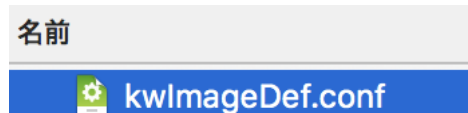
7.2.2 画像ファイルの複数定義

複数の属性を指定したい場合は、改行区切りで記載します。



7.2.3 画像定義ファイルのファイル名について

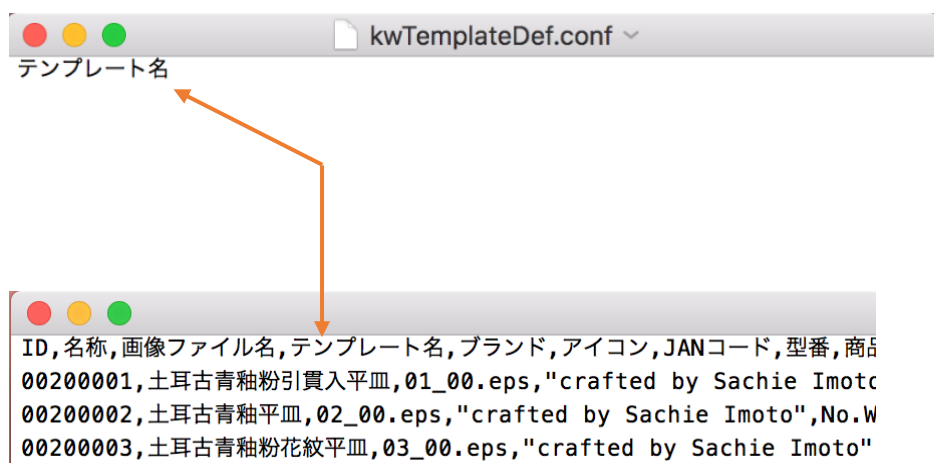
画像定義ファイルのファイル名は「kwImageDef.conf」というファイル名に固定されています。そのため、他のファイル名をつけた場合、正しく画像が読み込まれません。



7.2.4 テンプレート定義ファイルについて

テンプレート指定流し込みを使用する際には「テンプレート定義ファイル」というファイルが必要になります。

テンプレート定義ファイルには「CSV データに記載したテンプレートファイルを指す属性名」を記載します。



※CSV に記載している属性名とテンプレート定義ファイルの属性名は一致している必要があります。

7.2.5 テンプレート定義ファイルのファイル名について

テンプレート定義ファイルのファイル名は「kwTemplateDef.conf」というファイル名に固定されています。

その為、他のファイル名をつけた場合、正しくテンプレートが読み込まれません。



7.2.6 テンプレート名指定流し込みについて

テンプレート名指定流し込みは「レイアウト枠を使用した割り付け」の場合のみ使用できます。

8 付録

「組技」の機能一覧

No.	機能分類	機能名	マニュアル解説 章番号
1	データ取込み	データ格納先フォルダ指定	4.2.1
		XMLデータ取り込み	4.2.2
		CSVデータ取り込み	4.2.2
2	テンプレート（小組）	テンプレート一覧パネル	3.3.4
		テンプレート配置ツール	4.1.5
3	マッピング	項目定義	4.1.1
		項目マッピング	3.3.5
		フィールド一括生成	4.1.1
4	レイアウト枠	レイアウトレイヤー作成機能	4.6.1
		レイアウト枠管理パネル	3.3.8
		レイアウト枠作成ツール	4.6.1
		地番と商品情報の関連付け	4.6.2
5	データの表示	制作情報表示パネル	3.3.7
		データ一覧表示パネル	3.3.1 4.2.1
		データ表示の絞り込み	3.3.6 4.2.5 4.2.6
		データ検索機能	4.2.7
		データ項目一覧表示パネル	3.3.2 4.2.3
6	データの割り付け	データの割り付け	4.4.1
		データ項目単位での割り付け	4.4.2
		レイアウト枠に合わせてデータの割り付け	4.4.3
		段組みを指定してデータの割り付け	4.6.2
		割り付け機能オプション	4.4.5
		あふれ処理 ※InDesign版のみ	—
		フレーム伸縮 ※InDesign版のみ	—
		更新データの反映	4.4.4
		画像の自動配置	4.5.2
7	差異チェック	画像の手動配置	4.5.1
		データファイル (*.xml) 同士の比較	5.2.1
		データファイル (*.xml) と ドキュメントの比較	5.1.1
		除外設定（差異チェック対象外設定）	5.4.1 5.4.2
		差異チェック除外項目	5.3.1
		差異チェック対象外文字	5.3.2
		重複チェック	5.3.3
		オブジェクトとパレットの表示連動機能	5.1.2 5.1.3 5.2.2 5.2.3
8	画像関連	画像一覧パネル	3.3.3
		画像フォルダ（検索パス）の設定	4.3.2
		画像配置オプション	4.4.5
		対応画像フォーマット	4.3.1
9	双方向検索 （データ⇄オブジェクト）	データ単位操作	4.4.6
		データ項目単位操作	4.4.7
10	編集 （カット、コピー、ペースト）	レコードリンクを維持	4.7.1
		レコードリンク解除	4.7.2
		マッピングリンク解除	4.7.3
11	店舗情報関連	店舗情報	3.3.1
12	コメント関連	コメント作成ツール	4.8.1
		コメント管理パネル	3.3.9
13	エクスポート機能	XMLデータ出力	6.2
		XMLデータ-元データとのマージ結果出力	6.2
		XMLデータ-矩形座標出力（魅技連携）	6.2
		XMLデータ-差異チェック結果出力（紙技連携）	6.2
		CSVデータ出力	6.3
		CSVデータ-元データとのマージ結果出力	6.3
		PDF出力	6.2 6.3
		画像 (JPG) 出力	6.2 6.3
		出力ファイルアーカイブ (ZIP)	6.2 6.3
14	その他	バージョン情報	3.1.1
		ショートカットキー対応	3.1.3
		特殊Font対応 ※客先個別対応	—
		紙面情報Excel出力機能	5.1.4
		タグを削除して保存する機能 ※InDesign版のみ	—

/// N.GeN



2019.01